

福山みらい創造ビジョン
人口減少対策アクションプラン2025

2025年（令和7年）4月
福山市企画財政局
企画政策部企画政策課

目次

I 人口減少の現状と課題

- 1 人口減少対策の趣旨と計画期間
- 2 外国人を含む人口減少の状況
- 3 日本人の人口減少の状況

II 人口減少対策の方向性と主な取組

- 1 2040年の目標
- 2 人口減少対策の方向性
- 3 9つのペルソナと推進体制
- 4 2025年度の主な取組
- 5 ロードマップ

III 2025年度（令和7年度）のペルソナごとの取組

- 1 主な取組
- 2 成果目標
- 3 施策一覧

IV 参考－ライフステージごとの分析－

- 1 ライフステージごとの分析とペルソナ設定

I 人口減少の現状と課題

調査資料の記載方法等

- 人口関連統計データには、日本人のみと外国人を含むものがあり、タイトルの後ろにその旨を記載
- MA…複数回答、SA…単一回答
- N…アンケート回答者数（資料元に記載がない場合は未記載）
- 四捨五入により、合計が一致しない場合がある

1 人口減少対策の趣旨と計画期間

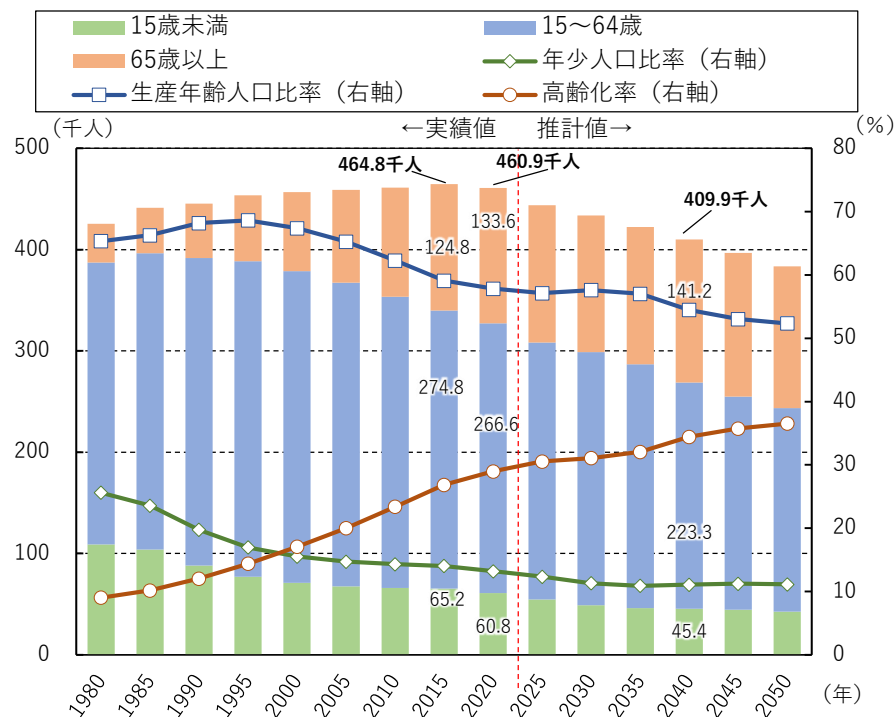
- 福山市の人口は、**2020年（令和2年）の国勢調査で460,930人**であり、1940年（昭和15年）以来の減少となりました。また、住民基本台帳における人口は、2023年（令和5年）2月末で46万人を割り込む状況となっています。
- 国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によると、**2040年（令和22年）には約41万人まで減少**すると予測されています。
- 今後、人口減少が加速度的に進行することで、企業活動の縮小や生活利便性の低下、地域の魅力の低下といった悪循環が生じ、さらなる人口減少を招くおそれがあります。
- こうした悪循環を抑制するため、2018年（平成30年）8月に「新たな人口減少対策～強化策～」を策定し、2019年度（令和元年度）からアクションプランを基に、官民連携で人口減少対策に取り組んできました。
- 本プランは、出生数や転出入数などの**人口や意識変化に関するデータをライフステージごとに再分析し、より一層効果的な対策を打つために策定**するものです。
- なお、本プランは、2021年（令和3年）3月に策定した「福山みらい創造ビジョン」の柱の1つである「人口減少対策の強化」について取りまとめるものであり、**期間は、2022年度（令和4年度）から2025年度（令和7年度）まで**とします。
- 期間中に社会情勢の変化等があった場合は、適宜、本プランに反映し、具体的な取組についても毎年度見直すこととしており、この度、「人口減少対策アクションプラン2025」として更新するものです。

2021年度（令和3年度）～2025年度（令和7年度）
福山みらい創造ビジョン

人口減少対策強化

2022年度（令和4年度）～2025年度（令和7年度）
人口減少対策アクションプラン

【福山市の将来人口推計グラフ（年齢3区分別）（外国人を含む）】



資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（2023年（令和5年）推計）
※2020年までは国勢調査の実績値（年齢3区分人口は年齢不詳を按分した数値）、2025年以降は推計値

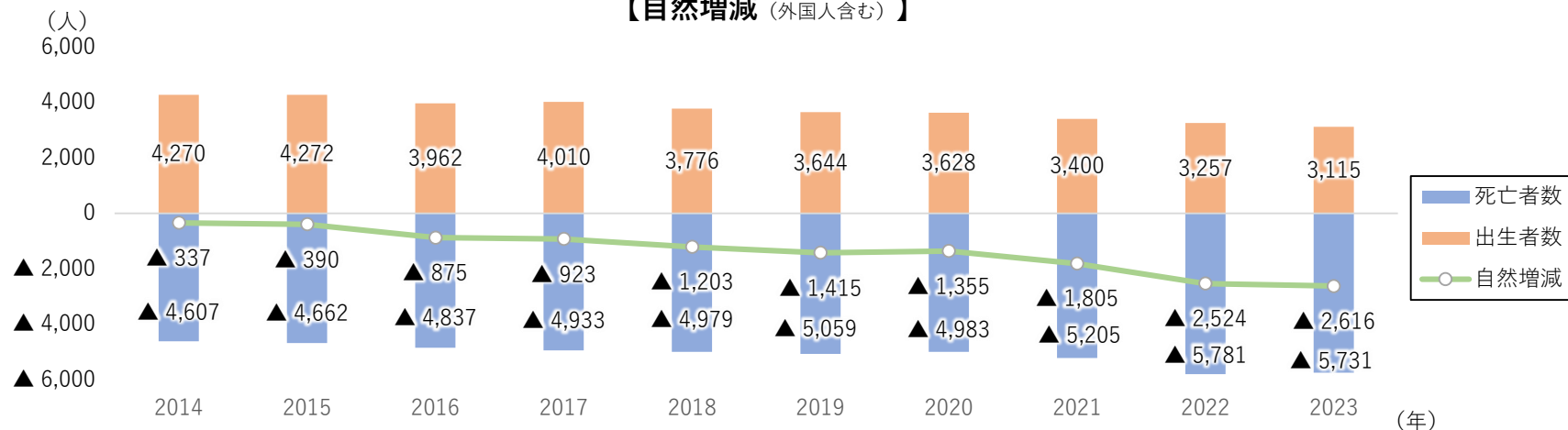
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs（Sustainable Development Goals の略：持続可能な開発目標）の実現に向け、多様な主体との創意工夫の下、新たな価値が創造される持続可能なまちづくりを進めていきます。

2 外国人を含む人口減少の状況

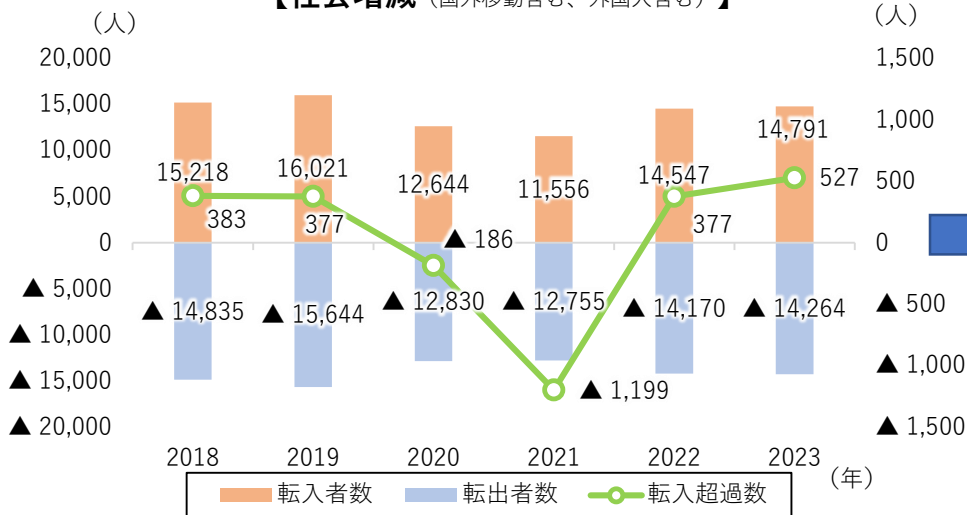
- 福山市の自然動態（外国人を含む）は、**自然減が継続**しており、**減少数が拡大傾向**にあります。
- 社会動態（外国人及び国外移動含む）は、2020年（令和2年）及び2021年（令和3年）は新型コロナによる入国制限等の影響により、転出超過となりましたが、**2022年（令和4年）以降再び転入超過**となっています。

【自然増減（外国人含む）】



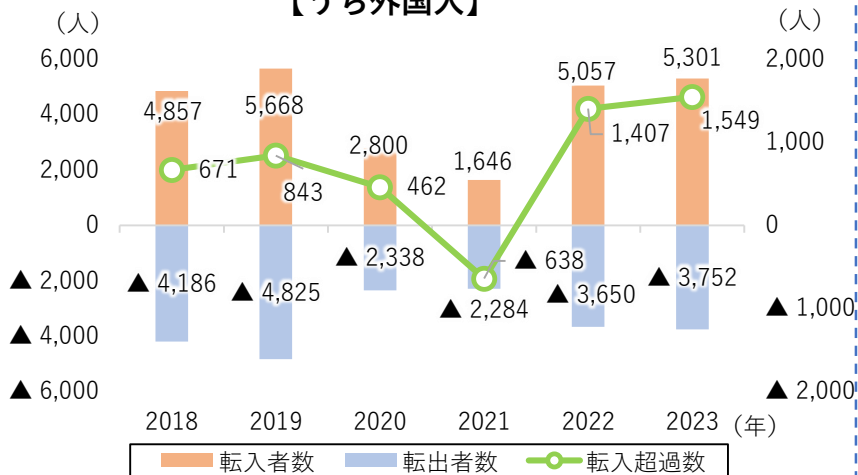
資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」

【社会増減（国外移動含む、外国人含む）】



資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」
※国外移動を含む。2018年及び2019年の国外移動分については、福山市資料より作成

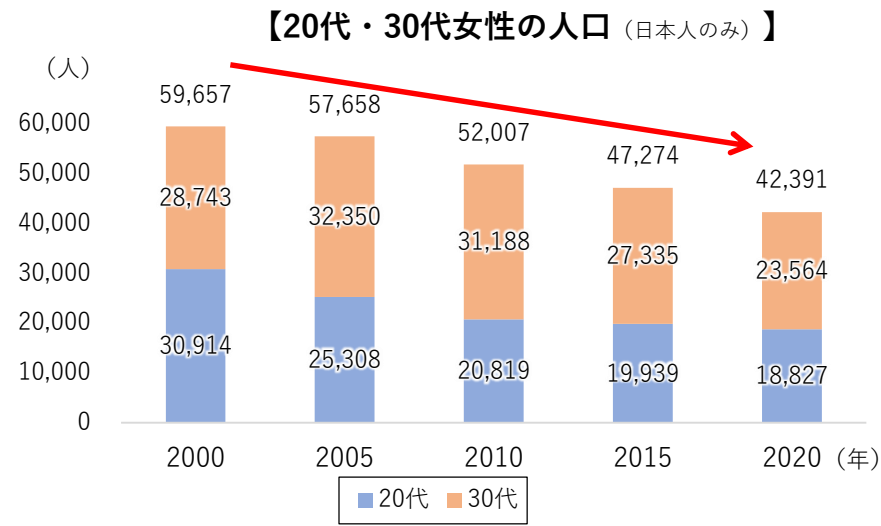
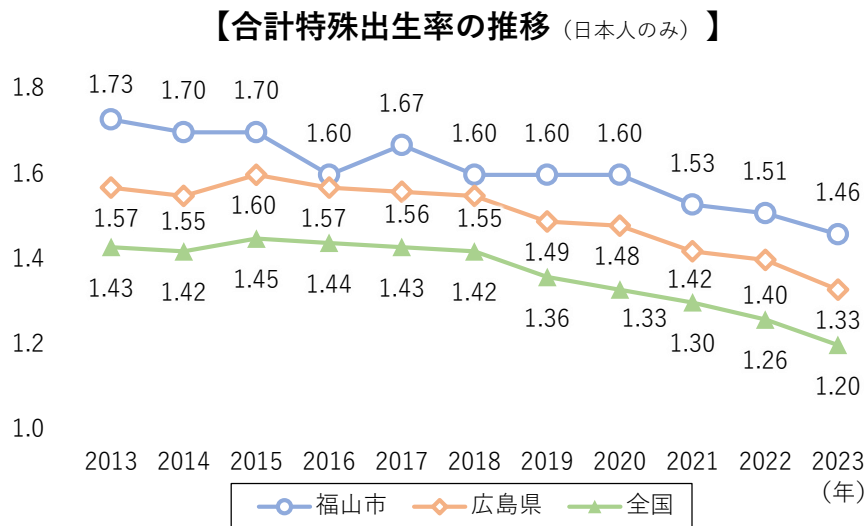
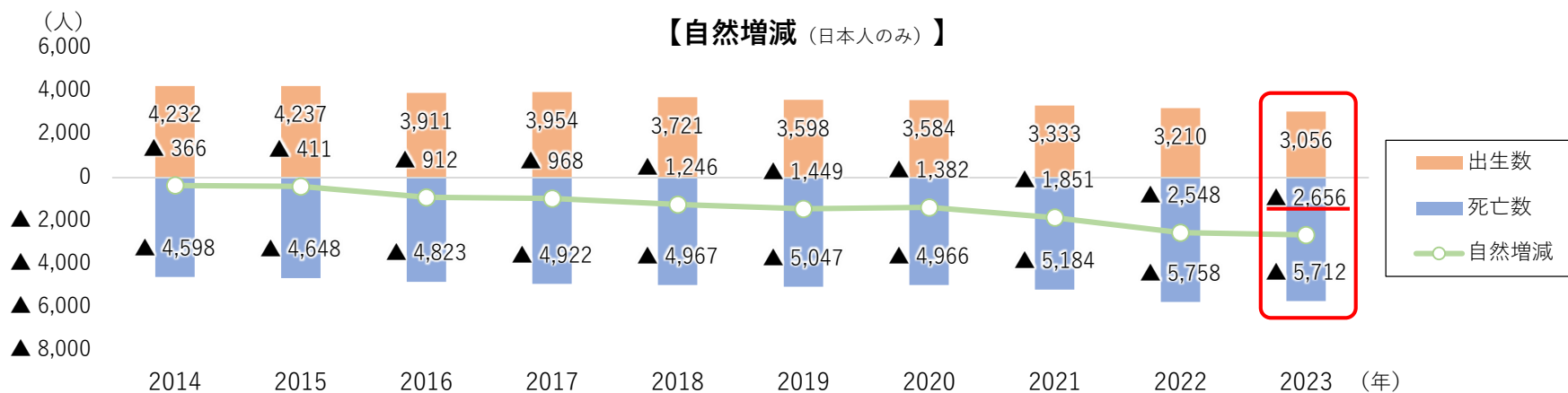
【うち外国人】



3 日本人の人口減少の状況

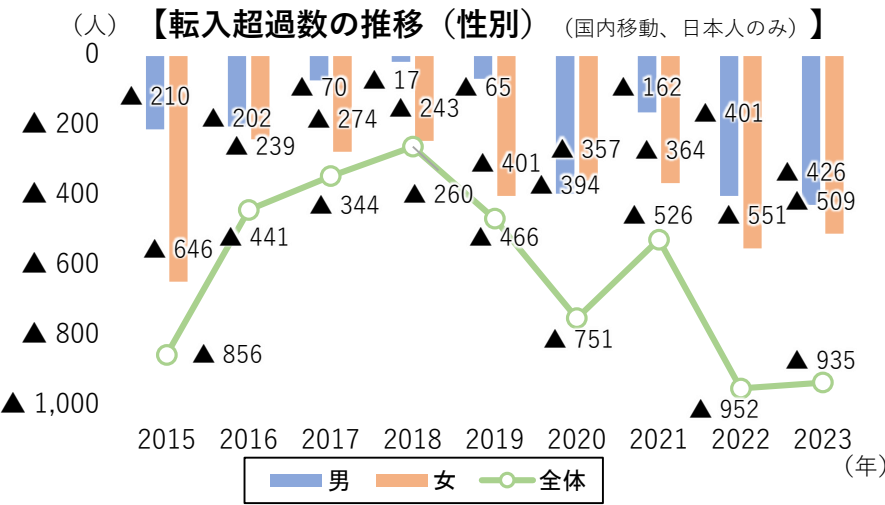
自然動態

- 福山市の自然動態は、**自然減が継続し**、出生数はこの10年で**約1,200人減少**しています。
- 合計特殊出生率は、全国や広島県と比べて高い数値を維持しているものの、**下降傾向が続いていることに加え、若い世代の女性の数が減少していることが、出生数の減少に影響**しています。



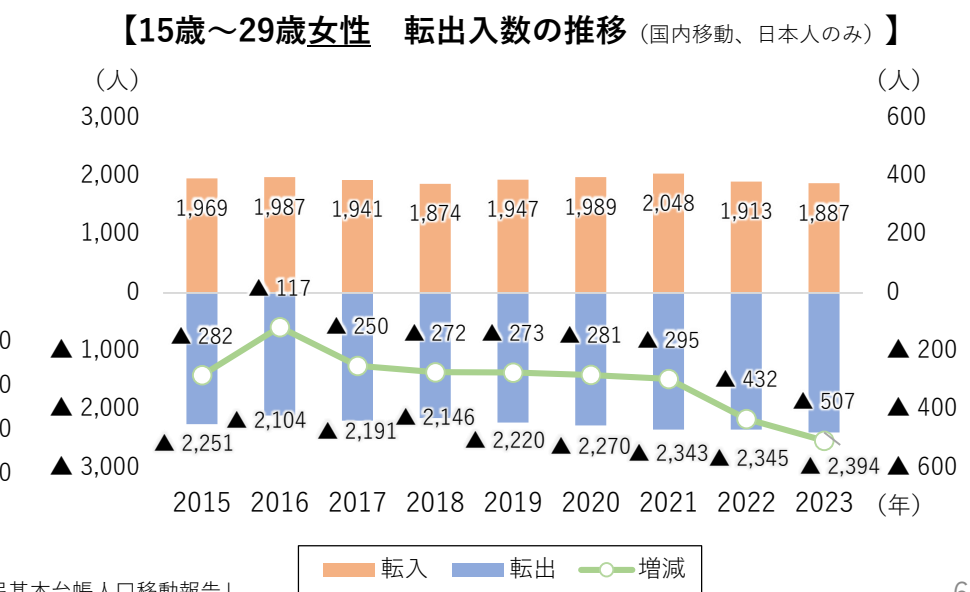
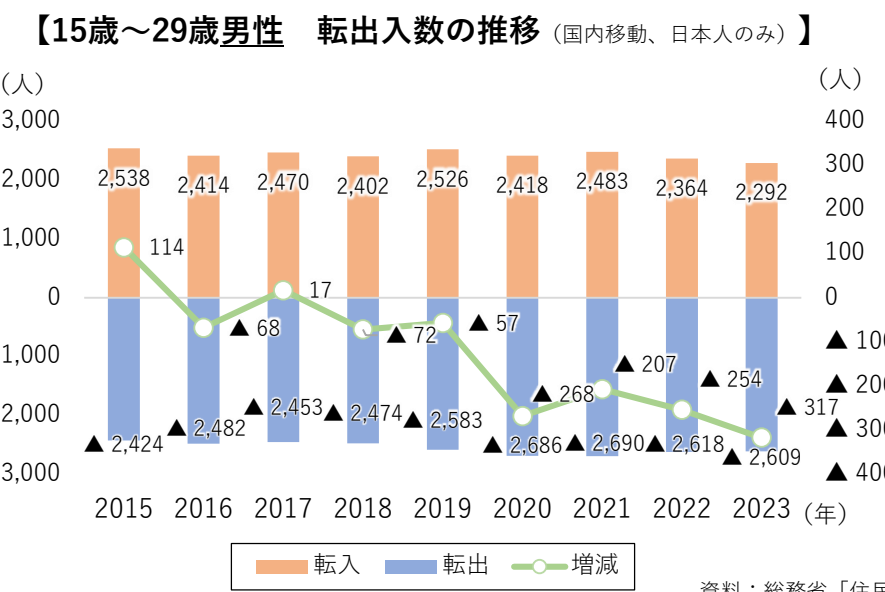
社会動態

- 2022年（令和4年）に男女ともに転出超過が大きく拡大し、**2015年（平成27年）以降で最も大きな転出超過**となり、2023年（令和5年）も転出超過が続いています。
- 年代別では、**15歳～29歳の転出超過が最も大きくなっています。**
- 男女別では、男性・女性ともに転出超過が継続しています。**



【2023年男女別年齢階級別転入超過数（年代別）（国内移動、日本人のみ）】

	全体	男	女		全体	男	女
全体	▲ 935	▲ 426	▲ 509	45～49歳	▲ 13	▲ 6	▲ 7
0～4歳	▲ 120	▲ 102	▲ 18	50～54歳	▲ 4	▲ 8	4
5～9歳	▲ 39	▲ 2	▲ 37	55～59歳	40	34	6
10～14歳	▲ 16	▲ 14	▲ 2	60～64歳	74	36	38
15～19歳	▲ 157	▲ 75	▲ 82	65～69歳	14	12	2
20～24歳	▲ 465	▲ 144	▲ 321	70～74歳	▲ 12	▲ 12	0
25～29歳	▲ 202	▲ 98	▲ 104	75～79歳	22	15	7
30～34歳	▲ 82	▲ 46	▲ 36	80～84歳	2	▲ 1	3
35～39歳	▲ 8	▲ 17	9	85～89歳	23	10	13
40～44歳	▲ 36	▲ 16	▲ 20	90歳以上	44	8	36

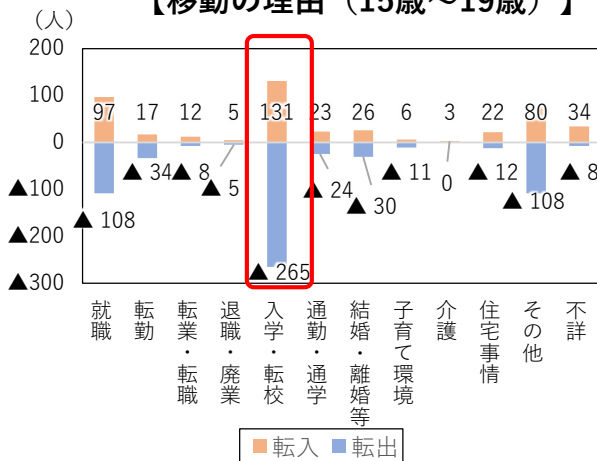


資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

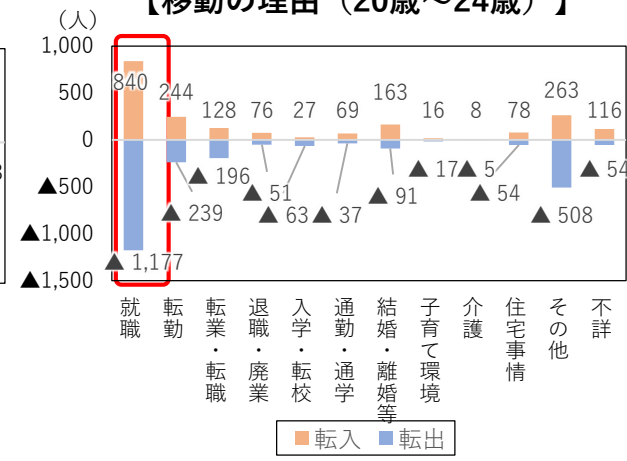
社会動態－転入・転出の要因－

- 転出入の理由を年代別に見ると、**15歳～19歳は就学、20歳～24歳は就職、25歳～29歳は転勤や転業・転職による転出超過**が大きくなっています。
- 高校卒業時に**約6割が市外に進学**しています。
- 東京圏在住者の20歳代では、**地方で働く・暮らすことへの関心**が高まっています。

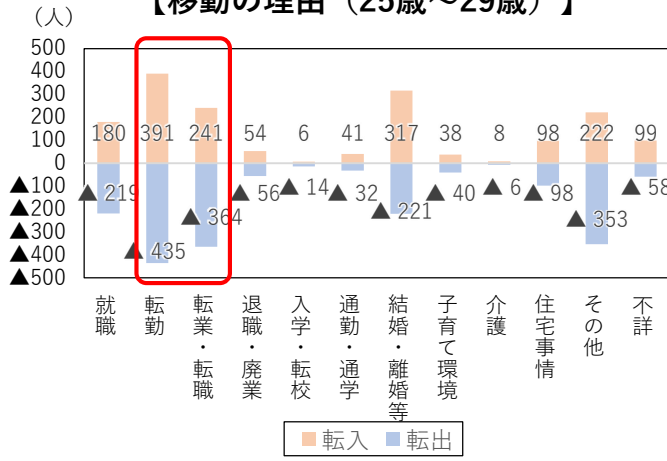
【移動の理由（15歳～19歳）】



【移動の理由（20歳～24歳）】



【移動の理由（25歳～29歳）】



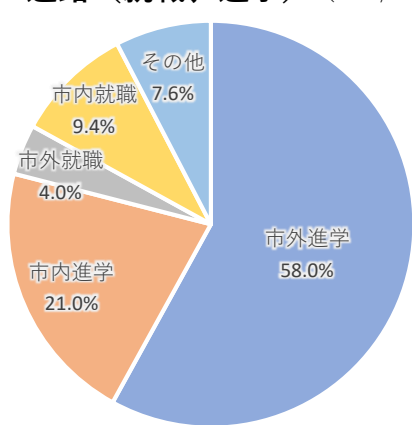
資料：広島県「人口移動統計」（2023年1月～2023年12月）参照

※広島県「人口移動統計」の月報を福山市で集約したもの。理由別移動者数は任意調査のため、総務省「住民基本台帳移動報告」に基づく福山市の転入数・転出数（日本人のみ/2023年）に合致するよう補正を行い理由別移動者数を推計した。

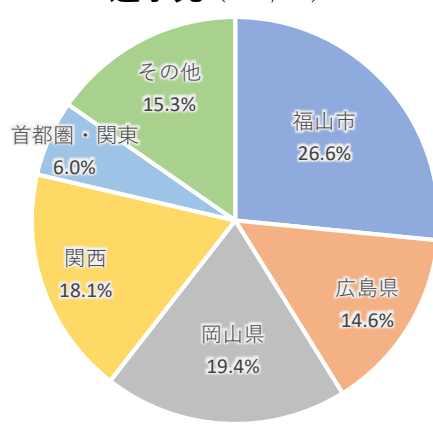
参考

【高校生の進路（SA）】

進路（就職、進学）（N=3,971）

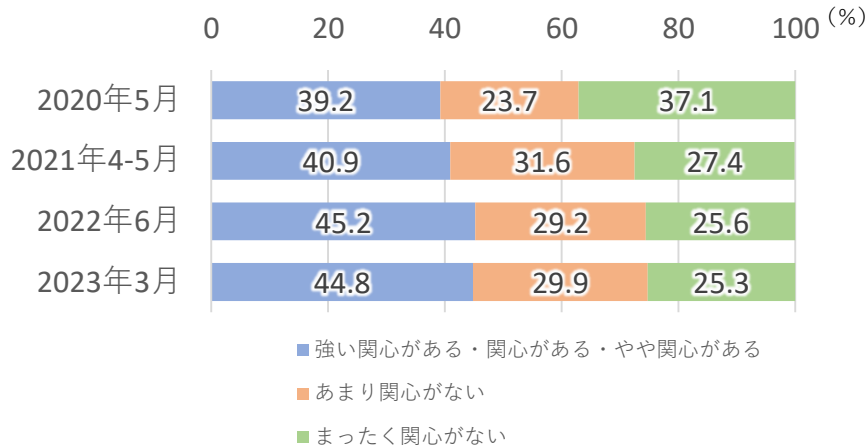


進学先（N=3,137）



資料：福山市「高校生進学先調査」（2024年8月）

【地方移住への関心（東京圏在住者）（20歳代）（SA）】



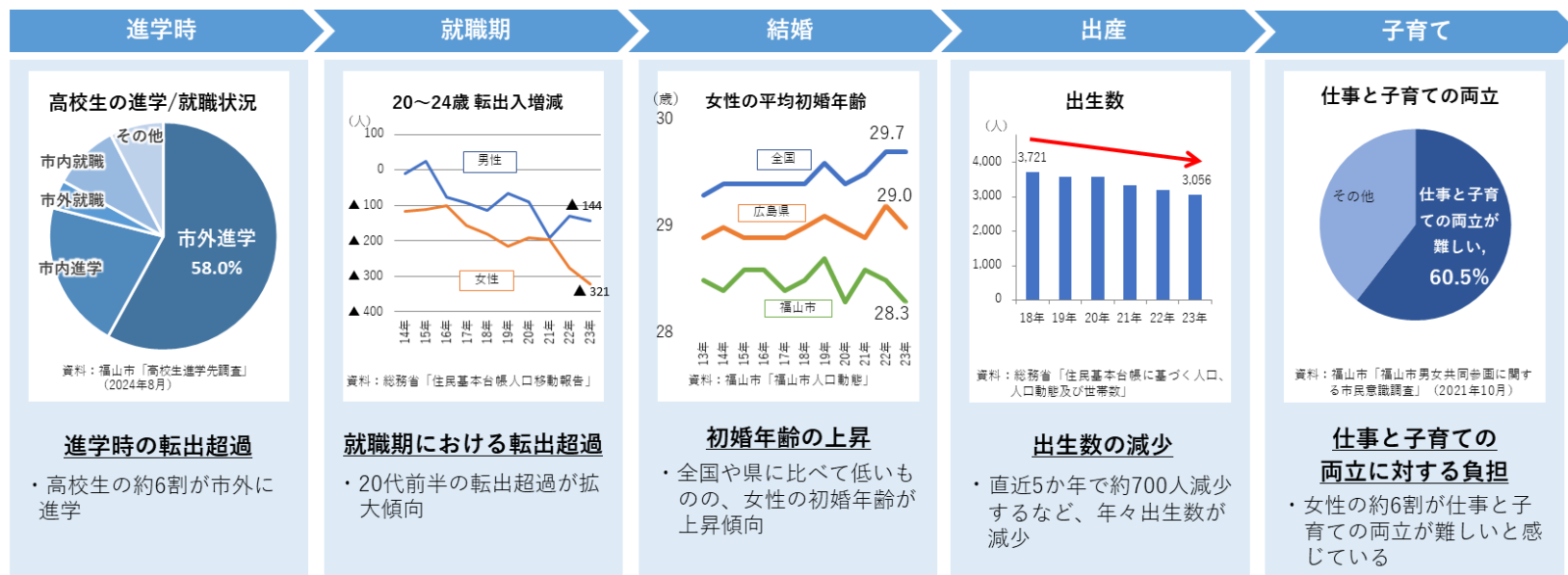
資料：内閣府「第5回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」（2023年3月）

Ⅱ 人口減少対策の方向性と主な取組

1 2040年の目標

進学期～子育て

- 本市の人口動態を見ると、**出生数の減少**や**進学期、就職期などのライフステージ**における**転出超過**により、**人口減少**が進行しています。
- 初婚年齢の上昇**や**共働き**などによる**仕事と子育ての両立**に対する**負担の増加**などにより、今後、さらに**少子化**が加速することも懸念されます。



移住

- 東京一極集中の傾向はコロナ禍前の水準に戻りつつあるが、テレワーク等の柔軟な働き方が進んだことにより、継続して**地方で働く・暮らすことへ関心がある**。

進学や就職など社会増減の起こるタイミングと、未婚や共働きなどライフスタイルの違いを踏まえて政策ターゲット（ペルソナ）を設定し、それぞれの満足度を高める施策を推進することで「多様なライフスタイルが実現できるまち」をめざす

2040年の目標

多様なライフスタイルが実現できるまち

チャレンジへの選択肢がたくさんある / 希望のライフスタイルへのサポート / 多様性を尊重しあえる心

2 人口減少対策の方向性

人口減少対策の方向性

2040年 目標

人口減少の要因分析

対策の柱

多様なライフスタイルが
実現できるまち

まずは、「現役世代を減らさない」

チャレンジ
への選択肢が
たくさんある

希望の
ライフスタイル
へのサポート

多様性を
尊重しあえる心

(1) 自然減

○出生数の減少 3,721人 ⇒ 3,056人
(日本人のみ) (2018年) (2023年)

- ・未婚率の上昇
35～39歳男性：22.0% → 34.5%
女性：11.1% → 22.4%
(2000年) (2020年)

- ・合計特殊出生率の低下
1.60(2018年) → 1.46(2023年)

- ・若い世代の女性の減少
20代・30代の女性
59,657人 → 42,391人
(2000年) (2020年)

【考えられる主な要因】

- ・結婚意向はあるものの、
適当な相手に巡り会わない。
- ・仕事と家事・子育ての両立
に不安がある。
- ・子育てや教育などの経済的
な負担が大きい。
- ・子育てが体力的に厳しい。
- ・こどもの保育・教育環境の
充実を求めている。
- 〔大学進学や就職時に都市部
へ転出。※社会減〕

○死亡数の増加

(2) 社会減

○転出超過 ▲3,630人 (国内移動、日本人のみ)
(直近5年累計 2019年～2023年)

- ・進学期の転出超過
15歳～19歳男女：▲541人
(直近5年累計 2019年～2023年)

- ・就職期の転出超過
20歳～24歳男女：▲1,818人
(直近5年累計 2019年～2023年)

【考えられる主な要因】

- ・希望する大学や学部が近隣
の都市や関西圏にある。
- ・希望する就職先が地元
にない。地元企業を知らない。
- ・娯楽や生活インフラが充実
する都市を選ぶ。

(1) 自然減対策
こども・子育て世代を支える
「こどもまんなか社会」の実現

①少子化対策の拡充

②安心の妊娠・出産・
子育て支援

③多様なニーズに応える
子育て支援の充実

④個性や能力を伸ばす
教育の実現

(2) 社会減対策
未来を創造する若者の活躍促進

①学びの環境の充実

②福山暮らしの魅力発信

③働きやすい職場環境整備

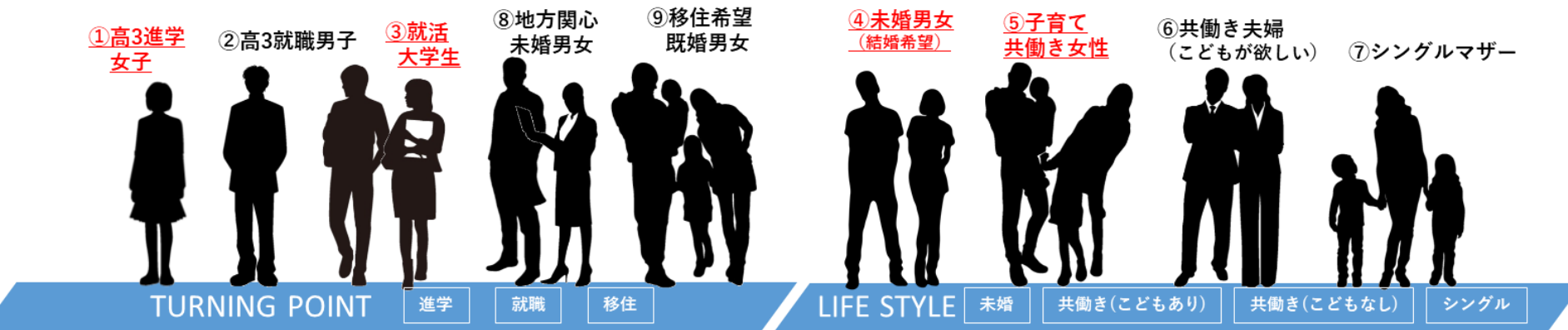
④地元就職支援

⑤都市基盤の整備

3 9つのペルソナと推進体制

9つのペルソナ

- 人口減少対策を3つのターニングポイントと4つのライフスタイルで捉え、9つのペルソナを設定します。
- 特に人口増減に影響のある4つのペルソナに重点的に取り組みます。



推進体制

※赤字は重点ペルソナ

- 産学官で役割を分担し、人口減少対策のための取組を「人口減少対策アクションプラン2025」に基づき、オール福山で推進する。
- 人口減少対策の強化に向け、グリーンな企業プラットフォームの取組を通じた働き方改革等の推進や、こども未来づくり100人委員会の提案事業の実現に向けた磨き上げ等の支援を行う。

人口減少対策アクションプラン

ペルソナマーケティングの手法を取り入れたアクションプランを産学官で推進



連携

グリーンな企業プラットフォームによる取組

企業同士の交流、共同研究を通じた働き方改革等の推進



連携

こども未来づくり100人委員会提案事業

こども未来づくりプラン（委員会提案の16の子育て支援策）の磨き上げ

4 2025年度の主な取組

(1) こども・子育て世代を支える「こどもまんなか社会」の実現

① 少子化対策の拡充

○出会いと結婚を希望する人へのサポート

- ・趣味や仕事等を通じた出会いの場の創出
- ・カップル・新婚夫婦が市内協賛店で特典を受けられるパスポートの発行

○経済的負担の軽減

- ・不妊・不育症の治療費の支援

○子育てにやさしい社会づくりのための意識改革

- ・子育て応援ウィークやグリーンな企業プラットフォームによる共働き・共育てに向けた取組

○働き方改革による共働き・共育ての推進 (男性の育児参加促進)

- ・**ふく**やまワーク・ライフ・バランスE X P Oの実施

③ 多様なニーズに応える子育て支援の充実

○**こども未来**づくり基金の設置

- ・子育てしやすい・したいと思えるまちの実現に向けた施策の推進

○**こども未来**づくり100人委員会提案事業の推進

- ・市民の声を届け、提案事業の磨き上げを支援

○地域での交流機会の充実

- ・**交流館**へ屋内キッズスペースを試行的に設置
- ・こども食堂等の運営支援の強化

○医療的ケア児への支援

- ・看護師同乗による通学支援の強化

○デジタル化による負担軽減

- ・相談予約や手続のオンライン化の拡大

② 安心の妊娠・出産・子育て支援

○**ネウボラ**センターの開設

- ・子育て・若者の相談機能の集約、こどもの遊び場等の充実

○経済的負担の軽減

- ・第2子以降の保育料無償化
- ・保育施設等の給食材料費高騰に伴う保護者負担増の抑制

○保育サービスの充実

- ・こども誰でも通園制度の拡大
- ・専属コーディネーターによる保育士の復職支援

○医療提供体制の充実

- ・小児救急・周産期医療体制の確保（寄付講座の実施）
- ・周産期母子医療センター開設に向けた医療機器等整備（福山市民病院）

④ 個性や能力を伸ばす教育の実現

○確かな学力を育む学校教育の推進

- ・学力向上プロジェクト
（**問題データベース**を活用した学習支援など）
- ・コミュニティ・スクール導入校の拡大
（学校・家庭・地域の協働による学校づくり）

○多様な学びの提供

- ・こどもの芸術文化体験プロジェクトの充実
（**学校**への巡回演奏会の実施（管弦楽四重奏など））
- ・不登校児童生徒への支援
（**メタバース**を活用した不登校児童生徒への支援、**フリースクール「おやまの学校」**の月1回の定期開催）

○子ども未来館プロジェクトの推進

- ・（仮称）子ども未来館の整備

(2) 未来を創造する若者の活躍促進

① 学びの環境の充実

- 看護師等養成所の教育環境の整備支援**
- 福山市立大学情報工学部の新設に向けた取組**
 - ・新棟建設工事に着手
 - ・学部設置認可申請

③ 働きやすい職場環境整備

- グリーンな企業プラットフォームを通じた働きやすい職場環境づくりの促進**
 - ・企業同士の交流、共同研究を通じた働き方改革等の推進
 - ・男性の育児休業取得促進
 - ・女性雇用を促進する職場環境整備の支援
- ふくやまワーク・ライフ・バランスEXPOの実施**
 - ・グリーンな企業の先進的な取組を紹介

⑤ 都市基盤の整備

- バス共創プラットフォームを通じた公共交通の再構築**
 - ・新規路線の運行等の実証実験
- 福山駅周辺のにぎわい再生**
 - ・福山駅前広場再整備に向けた検討（アンケートの実施など）
 - ・福山駅周辺への駐輪場の整備

② 福山暮らしの魅力発信

- 福山での暮らしや仕事を考える機会の充実**
 - ・高校生や大学生を対象としたライフ＆キャリアセミナーの実施
- 移住支援・関係人口の創出**
 - ・SNS移住オンラインコミュニティによる移住相談
 - ・備後圏域のポータルサイト「びんごライフ」による暮らしのイメージや魅力の発信

④ 地元就職支援

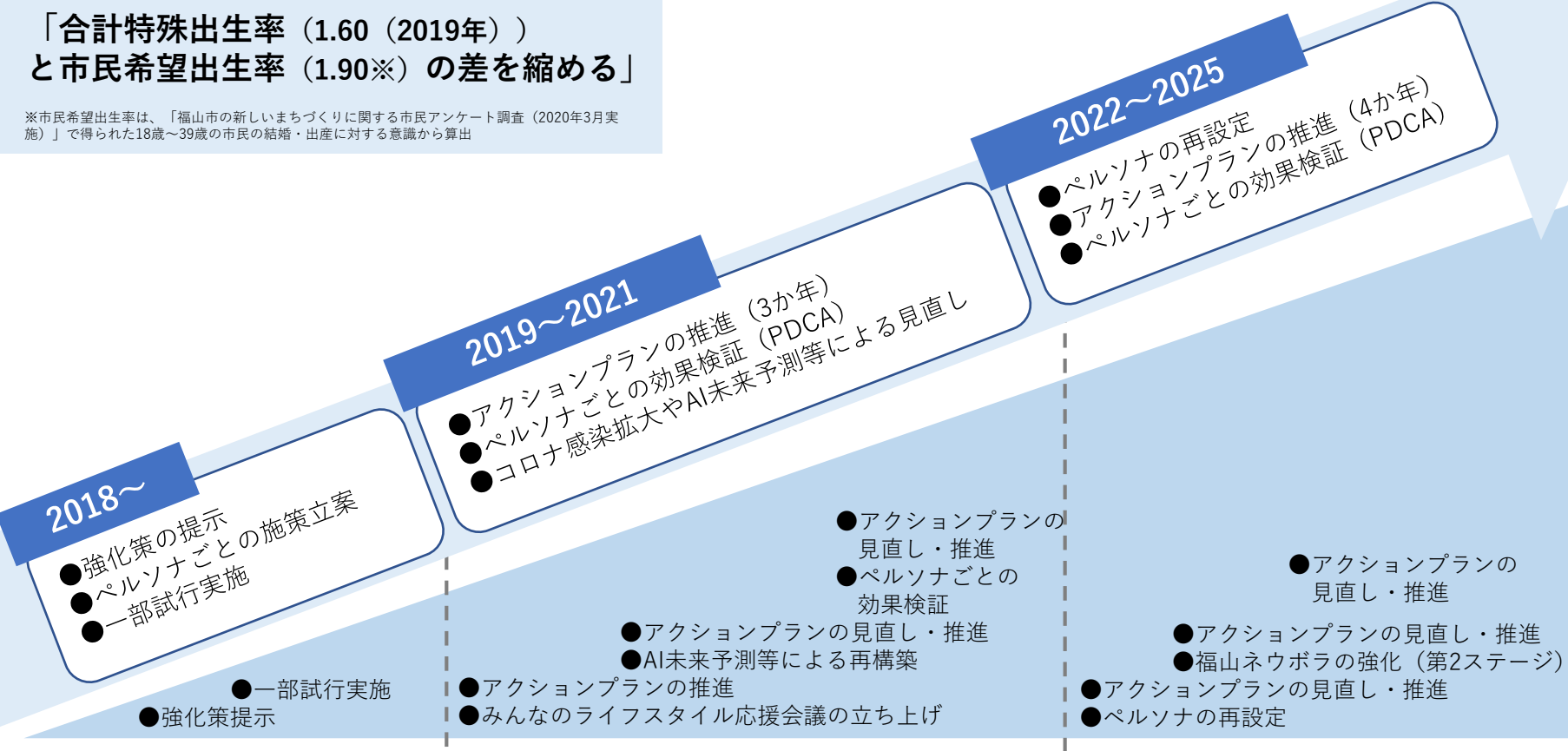
- 地元企業とのマッチング支援の充実**
 - ・インターン等が受入れ可能な企業の情報発信の強化（専用サイトによる発信）
 - ・企業のインターンシップに要する経費の支援
 - ・高校生及び保護者向けの企業・職業説明会の実施
- U・I・Jターンの促進**
 - ・U・I・Jターン就職の促進に向けた学生の就職活動費の支援
 - ・保育士やデジタル人材等の確保に向けた奨学ローンの返済支援



全体指標

「合計特殊出生率（1.60（2019年））
と市民希望出生率（1.90※）の差を縮める」

※市民希望出生率は、「福山市の新しいまちづくりに関する市民アンケート調査（2020年3月実施）」で得られた18歳～39歳の市民の結婚・出産に対する意識から算出



2018～

- 強化策の提示
- ペルソナごとの施策立案
- 一部試行実施

2019～2021

- アクションプランの推進（3か年）
- ペルソナごとの効果検証（PDCA）
- コロナ感染拡大やAI未来予測等による見直し

2022～2025

- ペルソナの再設定
- アクションプランの推進（4か年）
- ペルソナごとの効果検証（PDCA）

2018.9 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025

事業計画作成 基盤づくり・新型コロナ対策の強化
（子育て環境の充実・関係人口創出・産業のデジタル化） 満足度の高い子育てと働き方の実現
（こどもが健やかに成長できる環境の充実・男性の育児参加促進・希望の働き方ができる環境づくり）

- ・ネウボラ相談窓口「あのね」の拡充
- ・経済的負担の軽減（こども医療費助成の拡充など）
- ・ワーケーション、兼業・副業人材の活用
- ・中小企業のデジタル化支援
- ・小児救急医療拠点病院の指定 など
- ・経済的負担の軽減（第2子以降の保育料無償化、不妊治療費助成の拡充など）
- ・こどもの芸術文化体験プロジェクトの充実
- ・グリーンな企業プラットフォームによる取組
- ・福山市立大学の学部新設に向けた取組 など

Ⅲ 2025年度（令和7年度）のペルソナごとの取組

1 主な取組

ペルソナ①

進学期
【高校生】

福山で暮らす “未来を描く”

市外大学等への進学を考えている **高校3年生の女子**



広島市や岡山市など近隣の地方都市か関西圏の大学へ進学したい。
将来戻るかはわからない。

福山駅周辺に友達と遊んだり買い物できる場所が少ない。

学びたい学部があれば地元進学も良いと考えている。

年齢：18歳

性別：女性（未婚）

職業等：高校生（大学受験を控えている）

こども：なし

住まい：福山市に在住（実家）

ライフデザイン×キャリアデザインの構築支援

○地元でのライフ・キャリアプラン形成支援

- ⑧ライフ＆キャリアセミナーの実施
 - ・高校生向けに福山で暮らすこと、地元企業で働くことのイメージができるセミナーを実施

○職業観の醸成と地元企業の認知度向上

- 地元企業とのマッチング支援の充実
 - ・⑧インターン等が受入れ可能な企業の情報発信の強化（専用サイトによる発信）
- ⑧保育現場魅力発信事業
 - ・保育現場等の魅力を伝えるセミナーや出前講座の実施

若者に選ばれる都市づくり

○若者や女性も楽しめる福山駅周辺の実現

- 福山駅周辺のにぎわい再生
 - ・福山駅前広場再整備に向けた検討（アンケートの実施など）
 - ・⑧福山駅周辺への駐輪場（天満屋南側116台）の整備

地元への定着促進

○こども・若者の挑戦機会の創出

- 福山夢・未来開花プロジェクトの実施
 - ・次代を担う若者のチャレンジを市全体で後押し

○民間との連携による地元就職の促進

- 市外大学等への通学支援事業
 - ・実家から市外の大学へ通学できるよう支援
- 未来創生人材育成奨学資金
 - ・デジタル人材や看護師、保育士をめざす学生の市外進学を応援するとともにUターン就職を促進

○学びの環境の充実

- ⑧看護師等養成所の教育環境の整備支援
- 福山市立大学情報工学部の新設に向けた取組

進学期
【高校生】

福山で働く・暮らす “未来を描く”

地元企業への就職を予定している 高校3年生の男子



仕事は、デスクワークより体を動かす職場が希望。
市内の製造業に就職したい。

でも、市内で、安心して働き続けることができる企業についての知識がなくて不安。

年齢：18歳
性別：男性（未婚）
職業等：高校生（就職希望）

こども：なし
住まい：福山市に在住（実家）

市内企業の認知度向上・職業観の醸成

○地元企業とのマッチング支援の充実

- ⑧ インターン等が受入れ可能な企業の情報発信の強化（専用サイトによる発信）
- 高校生及び保護者向けの企業・職業説明会の実施
 - ・ 高校生や保護者に対して地元の企業について知る機会を設けることで、地元企業への就職を促進
- 若年者雇用対策事業（出前講座）
 - ・ 高校生等を対象に講師を派遣し、職業観の醸成や地元企業の認知度向上のための講座を実施

○製造業の魅力発信

- ゲンバ男子・ゲンバ女子
 - ・ 製造業の魅力をHPで紹介し、若者の人材確保・イメージアップを図る

○地元でのライフプラン形成支援

- ⑧ ライフ＆キャリアセミナーの実施
 - ・ 高校生向けに福山で暮らすこと、地元企業で働くことのイメージができるセミナーを実施



【高校生及び保護者向けの企業・職業説明会】

就職期 【大学生】

学生が企業の “理解を深める”

福山で就職するかどうか悩んでいる 大学3年生



地元企業のことがわからなくて不安。インターンシップや説明会等の機会を大切にしたい。

自分のやりたい仕事ができる職場、福利厚生だけでなくスキルアップができる職場で働きたい。

もっと生活の利便性が高く、にぎわいがあるといいな。

地域とのつながりができると、愛着が生まれると思う。

年齢：21歳

性別：男女（未婚）

職業等：大学生（就職活動中）

こども：なし

住まい：通学している大学の近隣
（賃貸住宅）

市内企業の魅力と認知度の向上

○企業における働き方改革の推進

- グリーンな企業プラットフォームを通じた働きやすい職場環境づくりの促進
- ・ 企業同士の交流、共同研究を通じた働き方改革等の推進
- ⑧ふくやまワーク・ライフ・バランスEXPOの実施
- ・ グリーンな企業の先進的な取組を紹介

○市内外の学生と企業のマッチング

- 企業のインターンシップに要する経費の支援
- ・ 交通費やインターンシップに係るコンテンツ構築に要した経費等を補助
- U I J ターンの促進
- ・ ⑧U I J ターン就職の促進に向けた学生の就職活動費の支援

地元への定着促進

○民間との連携による地元就職の促進

- 未来創生人材育成奨学資金
- 市外大学等への通学支援事業

都市魅力の向上と暮らしのイメージの形成

○交通の利便性向上とにぎわい創出

- 公共交通の再構築
- ・ ⑧バス共創プラットフォームによる新規路線の運行等の実証実験
- 福山駅周辺のにぎわい再生
- ・ 福山駅前広場再整備に向けた検討（アンケートの実施など）
- ・ ⑧福山駅周辺への駐輪場（天満屋南側116台）の整備

○地元でのライフ・キャリアプラン形成支援

- ⑧ライフ＆キャリアセミナーの実施
- ・ 大学生向けに福山で暮らし働くことがイメージできるセミナーを実施
- 介護・障がい福祉サービス等職員のスキルアップ
- ・ 職員のスキルアップと処遇改善による離職防止のための資格取得支援

○チャレンジを応援する環境づくり

- ⑧（仮称）ふくやま未来大賞の創設準備
- ・ 本市にゆかりのある若者の革新的・先駆的な取組を発掘・審査・表彰

ペルソナ④

結婚・子育て期 【未婚男女（結婚希望）】

出会い・結婚の “希望がかなう”

将来結婚を希望している25～39歳 未婚男女



結婚を考えたいけど、なかなかいい出会いがない。
趣味や仕事を通じて出会いたい。

早めに結婚したいと思っているが、仕事に慣れて、経済的に安定してからがいいかも。

結婚後、仕事と家事・育児を両立できるか不安。
自分の時間も無くなる。

年齢：30歳
性別：男女（未婚）
職業等：会社員

こども：なし
住まい：福山市に在住

出会いと結婚を希望する人へのサポート

○結婚を希望する人へのマッチング支援

- 出会いの場創出事業
・趣味や仕事等を通じた出会いの場の創出

○企業と連携した結婚を応援する機運の醸成

- ふくやまカップル・新婚応援パスポート事業
・カップル・新婚夫婦が市内協賛店で特典を受けられるパスポートの発行



結婚や子育てに希望がもてる環境整備

○企業における働き方改革の推進

- 新ふくやまワーク・ライフ・バランスEXPOの実施
・グリーンな企業の先進的な取組を紹介
- グリーンな企業プラットフォームを通じた働きやすい職場環境づくりの促進
・企業同士の交流、共同研究を通じた働き方改革等の推進
- ふくやまワーク・ライフ・バランス認定
・仕事と家庭の両立の実現に取り組む企業を認定

○共働き・共育ての推進（男性の育児参加促進）

- 男性の育児休業取得促進
・男性の育児休業取得を推進した企業への奨励金の支給
- 子育て応援ウィーク
・子育て応援ウィークによる共働き・共育ての機運醸成

ペルソナ⑤

結婚・子育て期 【共働き女性】

こどもの成長に “幸せ”を感じる



理想のこども数（2人目・3人目）を持ちたいと考える25～39歳

子育て共働き女性

2人目・3人目を考えているけど、経済的負担や子育てに係る時間的負担が心配。

夫の会社に休暇制度はあるけど、取りにくい雰囲気。
こどもの体調不良などで休むのはいつも私。

地域の人や子育てしている親同士で気軽に交流・相談できる場所があるといいな。

年 齢：38歳
性 別：女性（既婚）
職業等：会社員

こども：2人（幼児（保育所））
住まい：福山市に在住

子育てにかかる負担の軽減

○経済的負担の軽減

- 第2子以降の保育料無償化
- 乳児一般健診（1か月児健診）費用の助成

○多様な家庭環境に応じた子育て支援

- 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）
 - ・保育所や認定こども園等に通っていない0歳6か月～満3歳未満の乳幼児の預かり支援を実施
- 病児・病後児保育事業（施設型・訪問型）
 - ・病気の児童の一時預かりやベビーシッターによる自宅保育等を実施
- 産後ケア事業
 - ・訪問型に加え、日帰り型も対象者を拡大して育児を支援
- 医療的ケア児通学支援
 - ・看護師同乗による通学支援の強化

不安解消につながる支援の充実

○身近な相談・交流支援

- ネウボラセンターの開設
 - ・子育て・若者の相談機能の集約、こどもの遊び場等の充実
- 屋内キッズスペースの設置
 - ・交流館へ屋内キッズスペースを試行的に設置

子育てに希望がもてる環境整備

○地域とともに創り上げる子育て施策

- こども未来づくり100人委員会提案事業の推進
 - ・市民の声を届け、提案事業の磨き上げを支援
- こども食堂等の運営支援の強化

○共働き・共育での推進（男性の育児参加促進）

- 男性の育児休業取得促進
- 子育て応援ウィーク

ペルソナ⑥

結婚・子育て期

【共働き夫婦（こどもが欲しい）】

妊娠・出産・子育ての “不安解消”

妊娠を希望している25～39歳 共働き夫婦



結婚して3年。そろそろこどもがほしいが、経済面で不安。

不妊治療にも行きたいけど、仕事との両立が難しい。

年 齢：31歳
性 別：男女（既婚）
職業等：会社員

こども：なし
住まい：福山市に在住

妊娠・出産にかかる不安・負担の軽減

○充実した産前・産後のサポート

- 不妊治療費助成事業、不育症治療費助成事業
 - ・不妊治療や不育症治療に係る自己負担額を一部助成し、妊娠・出産を希望する夫婦の経済的負担を軽減
- 多胎妊娠の妊婦健診支援
 - ・多胎妊娠への健診費用補助の拡充により経済的負担を軽減
- 産後ケア事業
 - ・訪問型に加え、日帰り型も対象者を拡大して育児を支援

○子育てにかかる経済的負担の軽減

- 第2子以降の保育料無償化
- 乳児一般健診（1か月児健診）費用の助成

○身近な相談・交流支援

- ネウボラセンターの開設
 - ・子育て・若者の相談機能の集約、こどもの遊び場等の充実

仕事と妊娠・子育ての両立支援

○企業における働き方改革の推進

- ふくやまワーク・ライフ・バランスEXPOの実施
 - ・グリーンな企業の先進的な取組を紹介
- グリーンな企業プラットフォームを通じた取組
 - ・企業同士の交流、共同研究を通じた働き方改革等の推進
- ふくやまワーク・ライフ・バランス認定
 - ・仕事と家庭の両立の実現に取り組む企業を認定



結婚・子育て期 【シングルマザー】

“社会”で 子育てをサポート

2人のこどもを育てている25～39歳 **シングルマザー**



子育てや教育にお金がかかるので、経済的に不安。

頼れる人や気軽に相談できる人が近くにいたらいいな。

子育てとの両立がしやすい、柔軟な働き方ができる職場で働きたい。

年齢：30歳

性別：女性（未婚（離婚））

職業等：会社員

こども：2人（小学生・幼児（保育所））

住まい：福山市に在住（賃貸住宅）

経済的不安・負担の軽減

○養育費確保に向けた支援

- ④養育費確保支援事業費補助
 - ・調停申立てに係る費用の一部を補助
 - ・養育費に関する公正証書（※強制執行認諾条項があるもの）の作成に係る本人負担分を補助
 - ・不払い養育費の確保や養育費の継続的な履行確保のため、保証会社と契約した場合の初回手数料を市が負担

○こどもたちの教育機会の確保

- ひとり親家庭等のこどもの生活・学習支援事業
 - ・高等学校・大学等の進学に向けた学習支援や進路相談、生活指導などを実施
- ひとり親家庭等のこどもに対する受験料及び模試費用の補助
- 就学に必要な費用の援助（教材費・給食費等）

不安解消につながる支援の充実

○身近な相談・交流支援

- ④ネウボラセンターの開設
 - ・子育て・若者の相談機能の集約、こどもの遊び場等の充実
- ④屋内キッズスペースの設置
 - ・交流館へ屋内キッズスペースを試行的に設置

○地域とともに創り上げる子育て施策

- ④こども未来づくり100人委員会提案事業の推進
- こども食堂等の運営支援の強化

仕事と子育ての両立支援

○企業における働き方改革の推進

- ④ふくやまワーク・ライフ・バランスEXPOの実施
- グリーンな企業プラットフォームを通じた取組
- ふくやまワーク・ライフ・バランス認定

移住 【地方関心未婚男女】

福山で働く・暮らす “体験の場”を提供

地方での「働く・暮らす」に関心がある25～39歳

未婚の会社員



住む場所に制限されない働き方を実現したいが、なかなか一歩が踏み出せない。

地方への関心が高まっているが、地域の人や地元企業との関わりがなく、暮らしや働き方のイメージが沸かない。

年齢：30歳
性別：男女（未婚）

職業等：会社員（クリエイティブ（IT・デザイン）系）
こども：なし
住まい：首都圏・関西圏に在住（賃貸住宅）

地域・企業とのつながりの創出

○都市の魅力発信と関係人口の創出

- 関係人口創出事業
 - ・地域の課題解決や活性化に取り組む関係人口の誘致を促進
- 人材確保（兼業・副業）事業
 - ・備後圏域内の企業における兼業・副業人材の活用を促進
- びんごライフによる情報発信
 - ・備後圏域のポータルサイト「びんごライフ」による暮らしのイメージや魅力の発信
- 医療版ワーケーション
 - ・ワーケーションを通じた小児科医確保に向けた取組を推進

地方への移住支援

○移住希望者の負担軽減

- 移住支援事業費補助
 - ・東京23区在住者又は通勤者が福山市へ移住する際の負担を軽減
- 移住希望者等の空き家リノベーション支援
 - ・新婚世帯・子育て世帯や移住・定住希望者への補助を実施



移住 【移住希望既婚男女】

移住者が “暮らしたい”まち

一家で移住を考えている25～39歳 既婚の会社員



自然豊かな環境で子育てをしたいが、待機児童や地方の教育環境が不安。

地元で家を持つことや親の介護など、将来設計を考えないと。

関西圏など都市部の企業に就職したけど、自分のスキルを地元の企業で生かしたい。

年 齢：37歳
性 別：男女（既婚）
職業等：会社員

こども：2人（幼児（保育所）・乳幼児）
住まい：備後圏域出身（Uターン希望）
関西圏等に在住（賃貸住宅）

子育て・教育環境の充実

○確かな学力を育む学校教育の推進

- 学力向上プロジェクト
- ・ 問題データベースを活用した学習支援など

○多様な学びの場の充実

- こどもの芸術文化体験プロジェクトの充実
 - ・ 学校への巡回演奏会の実施（管弦楽四重奏など）
 - ・ 小・中学生を芸術文化施設・イベントに招待
- 不登校児童生徒への支援
 - ・ メタバースを活用した不登校児童生徒への支援
 - ・ 自然環境を生かしたフリースクール「おやまの学校」の月1回の定期開催

首都圏から地方への移住支援

○移住希望者の負担軽減

- 移住支援事業費補助
 - ・ 東京23区在住者又は通勤者が福山市へ移住する際の負担を軽減

移住後の生活スタイルを支援

○関係人口の創出

- 地域おこし協力隊による本市の魅力発信と移住促進を強化
- 人材確保（兼業・副業）事業
 - ・ 備後圏域内の企業における兼業・副業人材の活用を促進

○空き家の利活用を支援

- 移住希望者等の空き家リノベーション支援
 - ・ 新婚世帯・子育て世帯や移住・定住希望者への補助を実施



フリースクール「おやまの学校」

2 成果目標

ペルソナ	2025年度 成果目標	実績値（最新）
ペルソナ① 高3進学女子	○将来、福山市に戻ってきたいと思う高3進学女性の割合：60.0% ○高校3年生の市内企業の認知度：60.0%	48.5%（2021年度） 47.3%（2021年度）
ペルソナ② 高3就職男子	○高校生の地元就職率：75.0%	67.7%（2023年度）
ペルソナ③ 就活大学生	○20歳～24歳の男女転出入数：±0人	465人転出超過（2023年）
ペルソナ④ 未婚男女（結婚希望）	○婚姻件数：1,951件（2022年を維持）	1,766件（2023年）
ペルソナ⑤ 子育て共働き女性	○こどもの成長に幸せを感じる共働き女性の割合：100.0% ○自分の時間がもてると回答した女性の割合：100.0% ○男性の育児休業取得率：30.0%	100.0%（2021年度） 73.3%（2023年度） 32.9%（2023年度）
ペルソナ⑥ 共働き夫婦（こどもが欲しい）	○（ふくやまワーク・ライフ・バランス認定事業者のうち） 女性従業員の妊娠に対する配慮を行っている企業の数：65社	53社（2023年度）
ペルソナ⑦ シングルマザー	○児童扶養手当受給者における全部支給者の割合：50.0%	60.4%（2025年1月末）
ペルソナ⑧ 地方関心未婚男女	○25歳～39歳の男女転出入数：50人転入超過	292人転出超過（2023年）
ペルソナ⑨ 移住希望既婚男女	○福山市への移住意向：20.0%	14.2%（2019年）

3 事業一覧

ペルソナ								事業名等	2025年度予算額 (単位：千円)	担当部署
①	②	④	⑤					若者人材育成等支援事業（出前講座）	524	産業振興課
①	③							市外大学等への通学支援事業	536	企画政策課
①	③							未来創生人材育成奨学資金貸付事業（奨学ローン元利補給補助）	2,573	学事課
①	②							看護職員出前授業促進事業	420	保健部総務課
①	②							福山夢・未来開花プロジェクト	2,992	若者・くらしの悩み相談課
①							新規	保育現場魅力発信事業	1,394	保育施設課
①							新規	福山市医師会看護専門学校整備事業費補助	8,746	保健部総務課
①	②						新規	びんごクリエイターズラボ	4,400	備後圏域連携推進室
①								福山市立大学の学部新設	1,251,000	総務部総務課
②								高校生及び高校生保護者向けの企業・職業説明会	1,272	産業振興課
②	①							地域・国際課題解決プロジェクト（グローバル人材育成事業）	1,928	福山中・高等学校
②								ゲンバ男子・ゲンバ女子	-	産業振興課
③	④	⑤	⑥	⑦				ふくやまワーク・ライフ・バランス認定	-	産業振興課
③								女性の就業環境改善に対する補助	5,600	産業振興課
③	②							福山地方雇用対策協議会補助（新卒向け合同企業説明会等）	8,700	産業振興課
③								看護職員確保対策事業（看護学生地元就職支援セミナー）	2,856	保健部総務課
③	①	②						看護学生支援金	2,100	保健部総務課
③	①							福山駅前デザイン会議等の運営	16,924	福山駅周辺再生推進課
③	①							福山駅前広場再編事業	51,522	福山駅周辺再生推進課
③	①							福山市商店街活力向上事業補助金	3,600	産業振興課
③	①							中央公園官民連携推進事業	1,870	公園緑地課
③	②	④	⑤	⑥				グリーンな企業プラットフォーム	19,129	産業振興課
③	①	②	⑧	⑨				備後圏域プロモーション事業	2,300	備後圏域連携推進室
③								中小企業のデジタル化支援（ものづくり大学）	1,380	産業振興課
③								びんごAI講座（ものづくり大学）	690	産業振興課
③	④	⑤	⑥	⑦				中小企業等に対するICT化支援の実施	50,000	デジタル化推進課ほか
③	①						新規	都市環境整備事業費補助	4,600	福山駅周辺再生推進課
③	⑧						新規	繊維産業振興事業（繊維産地PR事業）	2,481	産業振興課
③	①	②					新規	ライフ&キャリアセミナー	1,000	産業振興課
③	①	②					新規	キャリア教育支援データベース	1,196	産業振興課

ペルソナ								事業名等	2025年度予算額 (単位：千円)	担当部署
③								新規 地方就職学生支援事業補助金	1,400	産業振興課
③	⑧	⑨						インターンシップ交通費等支援事業費補助金	750	産業振興課
③								新規 インターンシップ関連経費補助	2,250	産業振興課
③	⑧	⑨						保育士インターンシップ	1,331	保育施設課
③	①	②						新規 (仮称) ふくやま未来大賞の創設準備	1,000	企画政策課
③	①	②	⑧	⑨				新たな産業用地の創出	24,056	経済総務課
③	②							介護職員研修費補助	1,700	介護保険課
③	②							新規 障がい福祉サービス等職員研修費補助	905	障がい福祉課
③								奨学金返済支援事業費補助	1,800	産業振興課
④								出会いの場創出事業	1,750	こども企画課
④								ふくやまカップル・新婚応援パスポート事業	150	こども企画課
⑤	④	⑧						社会人看護学生支援金	12,000	保健部総務課
⑤	⑥	⑦	⑨					子育て支援アプリやホームページによる情報発信	660	ネウボラ推進課
⑤	⑥	⑦						オンライン相談	-	ネウボラ推進課
⑤	⑥	⑦						地域子育て支援拠点事業	173,235	ネウボラ推進課ほか
⑤	⑥							産前産後サポート事業	11,652	ネウボラ推進課
⑤	⑥	⑦	⑨					妊娠・子育て支援事業	315,100	ネウボラ推進課
⑤	⑥	⑦						子育て世代FP相談会	264	ネウボラ推進課
⑤	⑥							産後ケア事業	11,192	ネウボラ推進課
⑤	⑥	⑦						子育て短期支援事業	1,869	ネウボラ推進課
⑤	⑦							就労・再就職支援事業	-	ネウボラ推進課
⑤	⑥							産婦健康診査	25,915	ネウボラ推進課
⑤	④	⑥						男性育児休業取得促進事業費補助	5,000	産業振興課
⑤	④	⑥						広島県ナースセンター・サテライト福山との更なる連携	-	保健部総務課
⑤	⑥							こんにちは赤ちゃん訪問事業	8,596	ネウボラ推進課
⑤	③	④	⑦					保育士等就労支援事業費補助	12,500	保育施設課
⑤								児童手当の拡充(2024年度～)	3,412,620	ネウボラ推進課
⑤	⑦							こども発達支援センター運営	175,329	こども発達支援センター
⑤	⑦							こども発達支援センターオンライン診療	299	こども発達支援センター
⑤	⑦	⑨						ファミリー・サポート・センター事業	12,154	ネウボラ推進課
⑤	⑥	⑦	⑨					ネウボラ運営事業	118,845	ネウボラ推進課

ペルソナ								事業名等	2025年度予算額 (単位：千円)	担当部署
⑤	⑥	⑦	⑨					新規 ネウボラセンター整備	208,055	ネウボラ推進課
⑤	⑦	⑨						新規 休日保育・乳児等通園支援事業実施施設整備	21,000	保育施設課
⑤	⑦							新規 交流館への屋内キッズスペース試行的設置	4,500	保育施設課
⑤	④	⑥	⑦					新規 ふくやまワーク・ライフ・バランスEXPO	8,250	産業振興課ほか
⑤	⑦							給食費高騰対策（値上げ抑制分）	327,390	学校保健課
⑤	⑦							こどもの医療費助成	894,080	ネウボラ推進課
⑤	⑦							休日保育支援事業	4,780	保育施設課
⑤	④	⑦						保育補助者雇上強化事業	164,036	保育施設課
⑤	④	⑦						公立保育所保育士の確保	-	保育指導課
⑤	⑦							就学前教育・保育施設の再整備	71,866	保育施設課
⑤	④	⑦						保育体制強化事業	39,000	保育施設課
⑤	④	⑦						保育士等復職支援事業	3,433	保育施設課
⑤	⑦							入所制度の充実	-	保育施設課
⑤	⑦							医療的ケア児保育事業	55,728	保育施設課
⑤	⑦							スマート保育の実施	54,303 ※うち国の補正予算に伴う 前倒し18,600千円	保育施設課ほか
⑤	⑦							臓器移植等を行う小児慢性特定疾病児童等に係る交通費等補助 （小児慢性特定疾病交通費補助）	200	保健予防課
⑤	⑦							保育所等の広域利用	-	保育施設課
⑤	⑦							保育施設等給食材料費高騰対策事業	221,300	保育施設課
⑤	⑦							乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）	52,632	保育施設課
⑤	⑦							乳児一般健診	20,062	ネウボラ推進課
⑤	⑦							幼児等インフルエンザ予防接種	26,880	保健予防課
⑤	⑦	⑨						医療的ケア児の通学支援事業	19,859	障がい福祉課
⑤	⑥	⑦						第2子以降の保育料無償化	480,829	保育施設課
⑤	④	⑥	⑦					子育て応援ウィーク	4,744	ネウボラ推進課ほか
⑤	⑥	⑦						びんまる男性育休記事	-	産業振興課
⑤	⑥	⑦						夢みるパパとママの会、男性育児講座	34	多様性社会推進課ほか
⑤	⑦							えほんの国等運営事業	19,604	ネウボラ推進課

ペルソナ								事業名等	2025年度予算額 (単位：千円)	担当部署
⑤	⑥	⑦						芦田川緑地かわまち広場整備	2,338	公園緑地課
⑤	⑥	⑦						(仮称) 子ども未来館の整備	7,274	未来館設置準備室
⑤	⑥	⑦						丸之内公園再整備	293,660 ※うち国の補正予算に伴う 前倒し25,000千円	公園緑地課
⑤	④	⑥	⑦					新規 こども未来づくり100人委員会提案事業の推進	-	こども企画課
⑤	④	⑥	⑦					新規 こども未来づくり基金の設置	-	こども企画課
⑤	④	⑥	⑦					新規 こども・若者の意見聴取事業	-	こども企画課
⑤	④	⑥	⑦					新規 こどもまんなか社会について地域住民への意識啓発	-	こども企画課
⑤	⑥	⑦						新規 仕事と介護・育児の両立支援	550	産業振興課
⑤	⑦	⑨						びんごキッズラボ	8,500	企画政策課
⑥	⑤							不妊治療費助成事業	50,651	健康推進課
⑥	⑤							不育症治療費助成事業	2,758	健康推進課
⑥	⑤							多胎妊娠の妊婦健診支援	1,168	ネウボラ推進課
⑥	⑤							風しん抗体検査事業	3,156	保健予防課
⑥	⑤	⑦						小児救急医療の提供	-	市民病院医事課
⑥	⑤	⑦						周産期医療学講座	10,039	保健部総務課
⑥	⑤	⑦						小児急性疾患学講座	11,317	保健部総務課
⑦								子育て世帯向け住宅改修事業	33,600	住宅課
⑦								就学援助	-	学事課
⑦								ひとり親家庭等こどもの生活・学習支援事業	61,226	ネウボラ推進課
⑦	⑤							居場所づくり支援事業	7,711	ネウボラ推進課
⑦								児童扶養手当の拡充(2024年度～)	354,269	ネウボラ推進課
⑦								学習支援事業費補助	4,445	ネウボラ推進課
⑦	⑤							放課後児童クラブの運営	45,993	保育施設課
⑦	⑤							地域学習活動支援事業(放課後チャレンジ教室)	9,321	学びづくり課
⑦	⑤							病児・病後児保育事業(施設型)	39,518	保育施設課
⑦	⑤							病児・病後児保育事業(訪問型)	8,040	保育施設課
⑦								ひとり親家庭自立支援事業	64,031	ネウボラ推進課

ペルソナ								事業名等	2025年度予算額 (単位：千円)	担当部署
⑦	⑤							児童虐待防止対策事業	100,334	ネウボラ推進課
⑦							新規	養育費確保支援事業費補助	2,739	ネウボラ推進課
⑦	⑥							低所得の妊婦に対する初回産科受診料支援事業	500	ネウボラ推進課
⑧								関係人口創出事業	2,704	企画政策課
⑧								AIビジネスキャンプ	7,000	デジタル化推進課
⑧	④	⑤	⑥	⑦				医療版ワーケーション実施事業	3,200	保健部総務課
⑧	⑨							人材確保（兼業・副業）事業	7,830	産業振興課
⑧	⑨							プロフェッショナル人材の活用	630	企画政策課
⑧	⑨							プロフェッショナル人材の活用（びんご兼業・副業人材分）	2,520	企画政策課
⑨								小学校「学びづくりフロンティア校」事業	345	学事課
⑨								中学校「教科の専門性パワーアップ」事業	510	学事課
⑨								学力の伸びを把握する調査	-	学びづくり課
⑨								小中一貫教育推進事業	291,517	学びづくり課
⑨								こどもの芸術文化体験プロジェクトの充実（芸術文化体験事業）	6,999	学びづくり課
⑨								こどもの芸術文化体験プロジェクトの充実（オーケストラ福山定期）	78,500	文化振興課
⑨								こどもの芸術文化体験プロジェクトの充実（ばらのまち福山国際音楽祭）	66,700	文化振興課
⑨								公共及び民間のプール施設を活用した水泳授業の実施	94,863	学びづくり課
⑨								多様な学び場の充実（イエナプラン教育の実践）	768	学事課
⑨								多様な学び場の充実（特認校の運営）	-	学事課
⑨								コミュニティ・スクール活動支援事業	3,900	学事課
⑨								日本語指導の充実	15,724	学びづくり課
⑨	⑧							空き家リノベーション促進事業	11,200	住宅課
⑨								GIGAスクール事業（学習端末用の通信回線等）	65,146	教育総務課ほか
⑨								地域おこし協力隊による情報発信	14,269	まちづくり推進課
⑨	⑧							移住支援事業費補助	5,000	産業振興課・企画政策課
⑨							新規	フリースクール「おやまの学校」	1,200	学校再編推進室
⑨							新規	国際教育交流推進事業（万博国際交流プログラム）	2,800	学びづくり課
⑨							新規	教育相談事業（メタバースを活用した不登校支援）	1,289	学びづくり課
⑨							新規	学力向上支援事業	24,666	学びづくり課

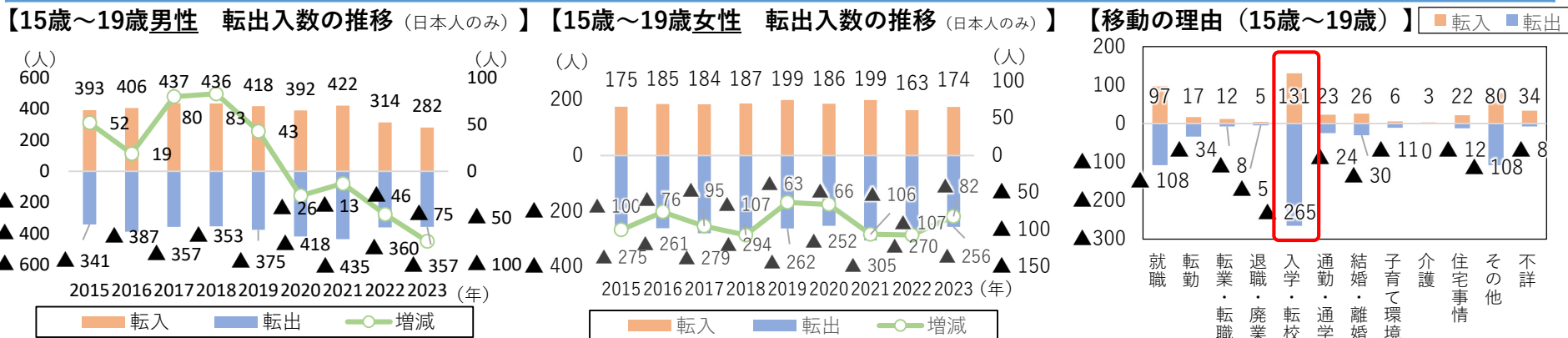
IV 参考 – ライフステージごとの分析 –

1 ライフステージごとの分析とペルソナ設定

(1) 10歳代後半・進学期

①人口関連データ

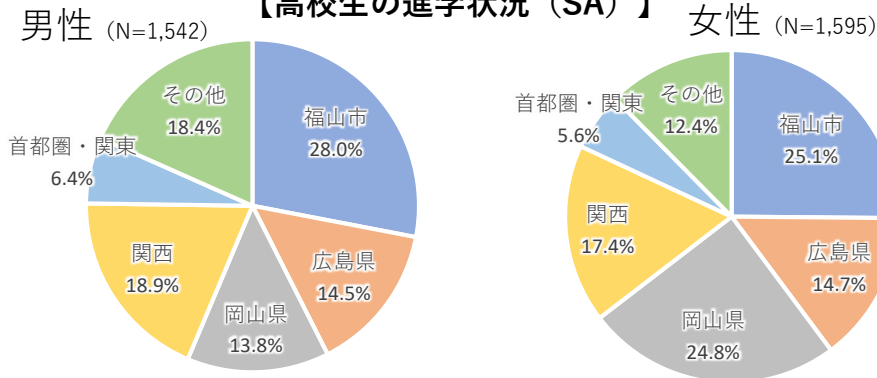
- ・ 男性は転入超過傾向でしたが、2020年（令和2年）から転出超過に転じており、男性も女性も転出超過が継続しています。
- ・ 大学等へ進学するタイミングで人口が減少しています。



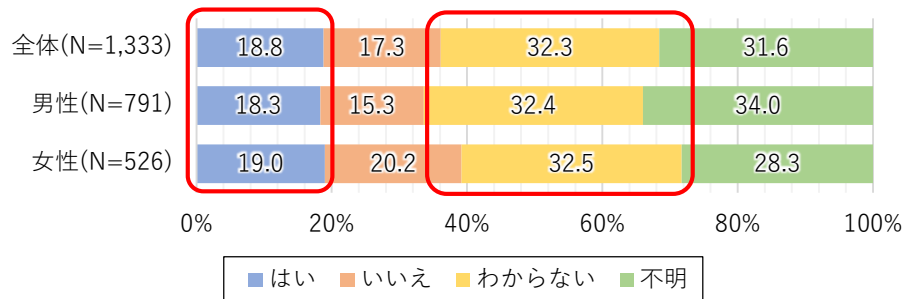
②意識関連データ

- ・ 男女ともに進学者の約7割が市外に進学。地元に戻りたいと思う人は2割以下の状況。また、戻るか分からないと回答した人が3割以上います。
- ・ 戻りたくない理由として、就職したい業種・職種がないことや遊ぶ場所が少ないことが多くなっています。女性では特に買いたい物がないお店が少ないことをあげる人が多くなっています。
- ・ 希望する業種は、男性では製造業が、女性では医療・福祉が最も多くなっています。
- ・ 地元企業の認知度を見ると、約5割の人があまり知らない（1社以上5社未満）となっています。

【高校生の進学状況（SA）】

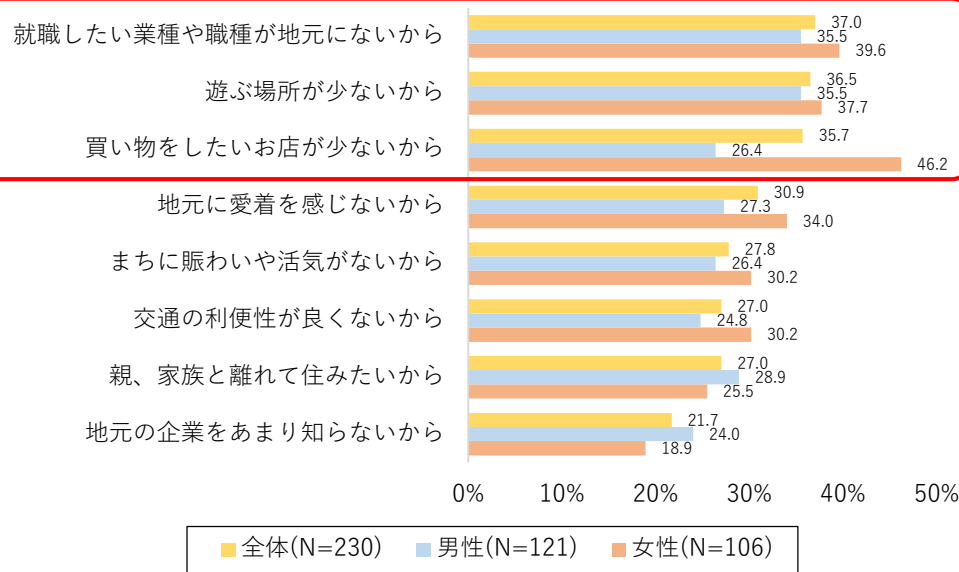


【将来、住んでいる市・町に戻ってきたいと思うか（SA）】

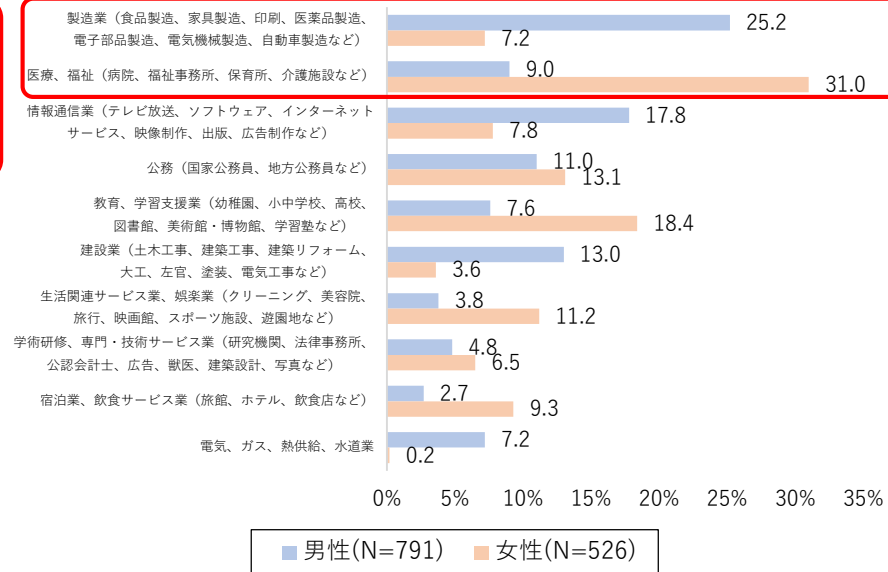


※性別で「その他」「不明」の回答者がいるため、男女の計が全体と一致しない。

【将来、戻ってきたいと思わない理由（MA）】



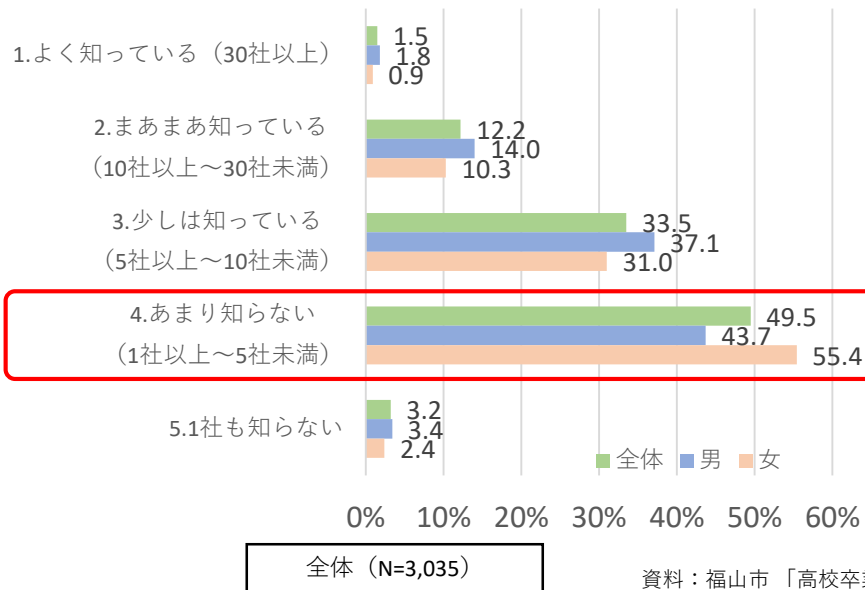
【将来、働きたい業種（上位10項目）（MA）】



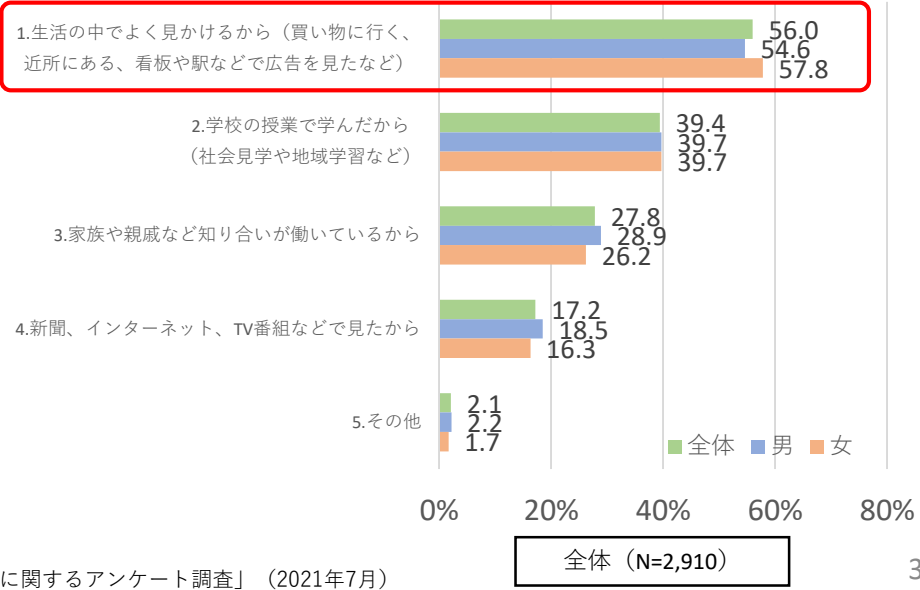
資料：福山市「若者（高校生）の定住志向に関するアンケート調査」（2020年7月）

※性別で「その他」「不明」の回答者がいるため、男女の計が全体と一致しない。

【地元企業の認知度（男女別）（SA）】



【地元企業を知っている理由(MA)】



資料：福山市「高校卒業後に関するアンケート調査」（2021年7月）

市内高校生へのヒアリング

対象：市内の高校生（女子計4名） 高校3年生3名・高校2年生1名

日程：2024年（令和6年）6月29日、9月7日 方法：対面での座談会形式

主な意見（進学先の選択について）

- ・ 福山で暮らしたい、福山を活性化させたいという思いがあるため、市内の大学に進学予定。
- ・ 親に近くにいて欲しいと言われたこともあり、近くにある国公立を志望している。
- ・ 希望する学部（法学部等）が市内にないため、市外の大学に進学予定。

主な意見（将来の就職先・居住予定地の選択について）

- ・ まちづくりができる会社に就職し、福山を活性化させたい。自分が企画したイベント等が、地元で開催されることは面白いと思う。
- ・ 市外の大学に進学するが、将来は福山で暮らしたい。都会は魅力的だが、物価が高く暮らすことに適した場所ではないと思う。
- ・ 地域のお祭りが好きなことや知り合いが多いこともあり、地元に愛着がある。
- ・ 福山市内では、自分のしたい仕事ができる企業が浮かばない。
- ・ 他都市駅周辺のショッピング街のようなにぎわいが欲しい。

市内高等学校へのヒアリング（6校）

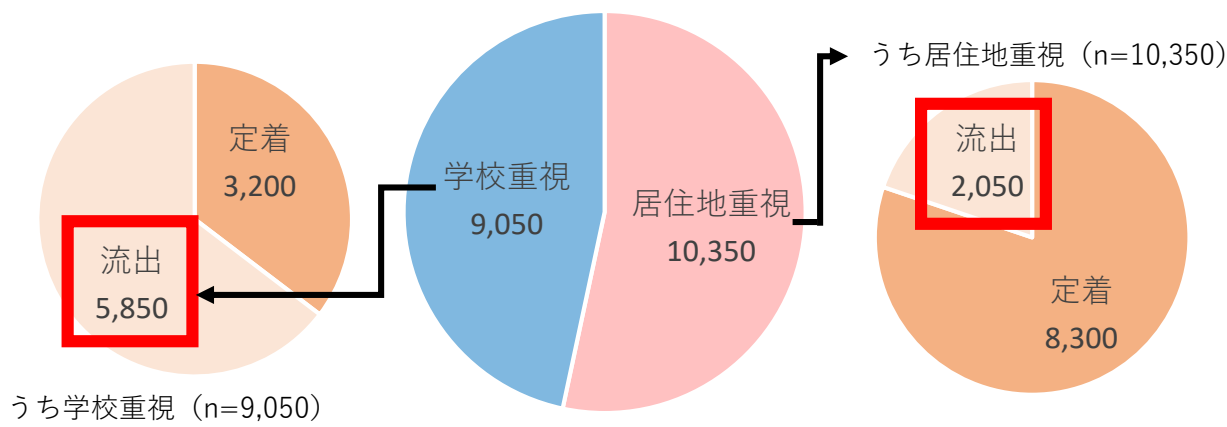
主な意見（地元就職について）

- ・ 地元就職率向上のためには、「働きやすい職場環境」、「学生の地元産業への理解や地元企業の認知度向上」が必要な要素である。
- ・ 行政には、職場体験や出前講座、交流会など小中高生と企業の関わりを増やす取組への支援を求める。

広島県における若年層の社会減少要因調査分析（2024年10月）

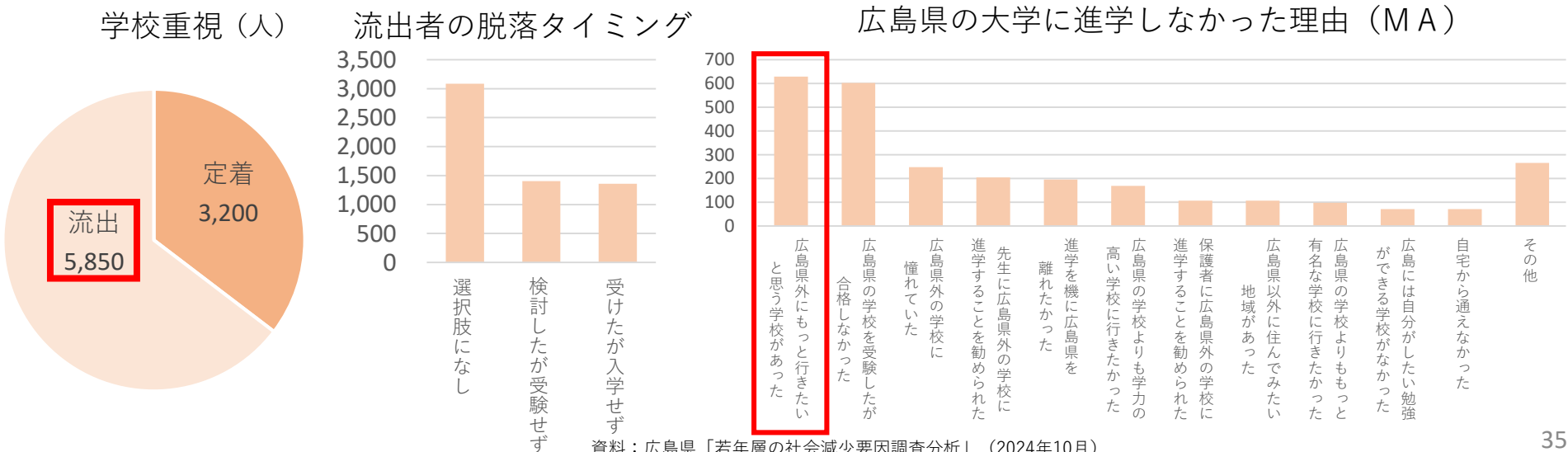
- ・ 県内の高校から大学等に進学する高校生（19,400人）のうち、県外進学は7,900人（5,850人+2,050人）です。
そのうち、約半数は県内の大学等への進学を一度は視野に入れています、結果的に県外に流出している状況です。
- ・ 県内の大学等に進学しなかった主な理由は「広島県外にもっと行きたいと思う学校があった」となっています。

【大学進学期に重視することと流出・定着の状況】（人）

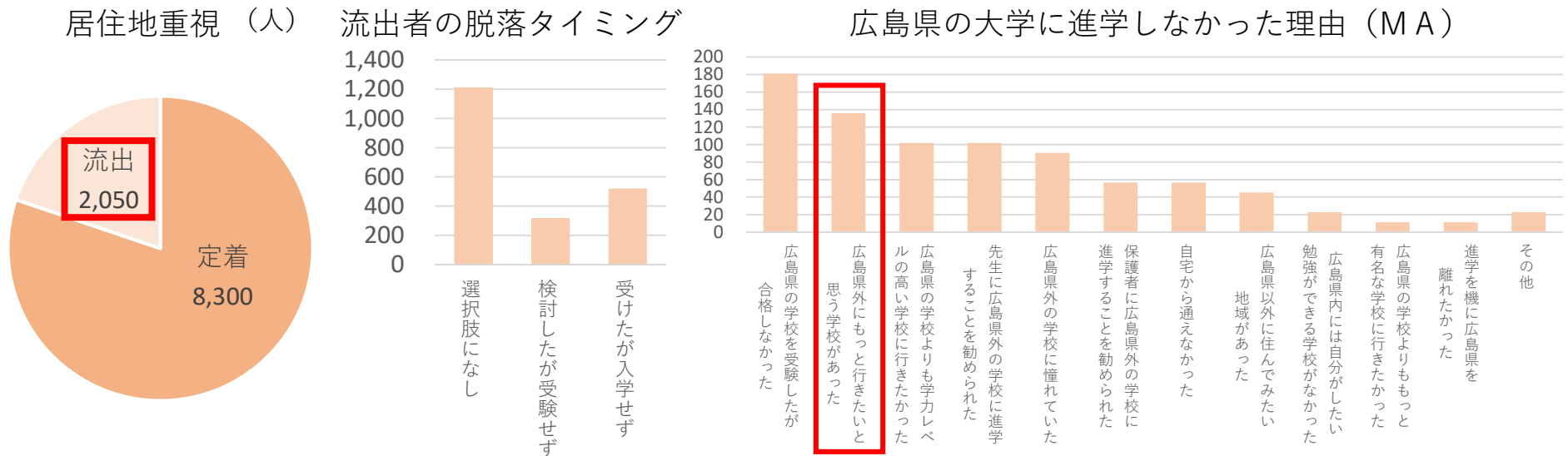


※県内の高校から大学等に進学する高校生（n = 19,400）

【学校重視型の大学進学における志向と行動】



【居住地重視型の大学進学における志向と行動】



資料：広島県「若年層の社会減少要因調査分析」（2024年10月）

重点ペルソナ① 高校3年生の女子

市外大学等への進学を考えている
高校3年生の女子



広島市や岡山市など近隣の地方都市か関西圏の大学へ進学したい。将来戻るかはわからない。

福山駅周辺に友達と遊んだり買い物できる場所が少ない。

学びたい学部があれば地元進学もいいと考えている。

ペルソナ② 高校3年生の男子

地元企業への就職を予定している
高校3年生の男子



仕事は、デスクワークより体を動かす職場が希望。市内の製造業に就職したい。

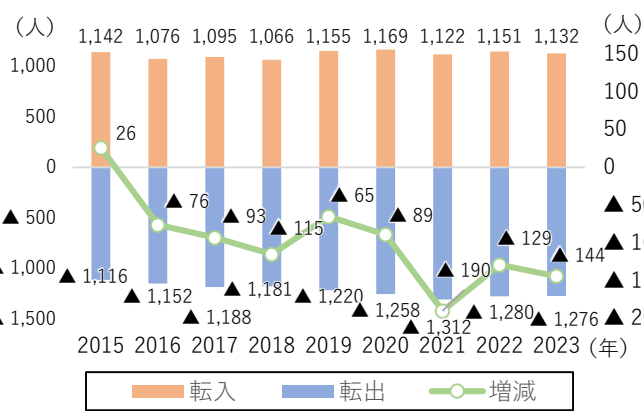
でも、市内で、安心して働けることができる企業についての知識がなくて不安。

(2) 20歳代前半・就職期

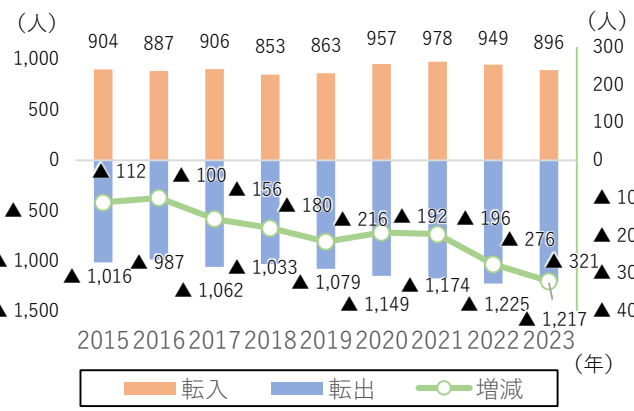
①人口関連データ

- 20歳～24歳では、男女とも転出超過が継続しており、特に女性の転出超過が拡大傾向にあります。
- 就職等のタイミングで人口が大きく減少しています。

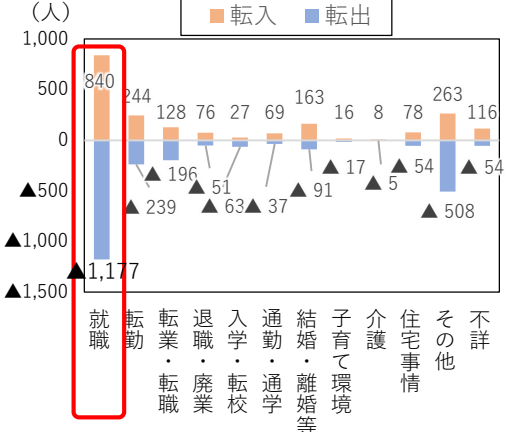
【20歳～24歳男性 転出入数の推移 (日本人のみ)】



【20歳～24歳女性 転出入数の推移 (日本人のみ)】



【移動の理由 (20歳～24歳)】



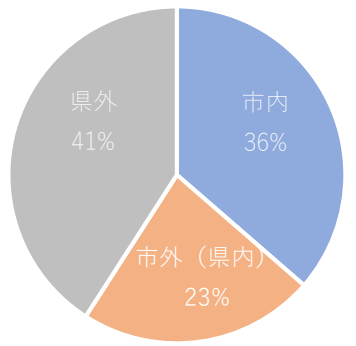
資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

資料：広島県「人口移動統計」
(2023年1月～2023年12月) から作成

②意識関連データ

- 市内大学生等のうち、市内出身者は約4割となっています。また、市内就職率は約3割となっています。
- 市外に就職する学生は、就職先を選択した理由に「やりたい仕事ができる」「高いスキルが身につく」「職場の雰囲気が良い」などを挙げる割合が高くなっています。また、居住予定地を選択した理由は「生活の利便性が高い、街ににぎわいがある」を挙げる割合が高くなっています。
- 就職活動における情報の取得手段では「合同企業説明会」が最も多く挙げられています。

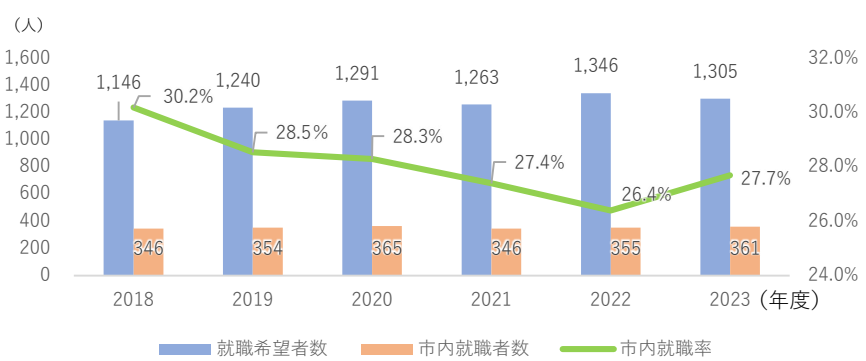
【市内大学生の出身地内訳】



資料：福山市

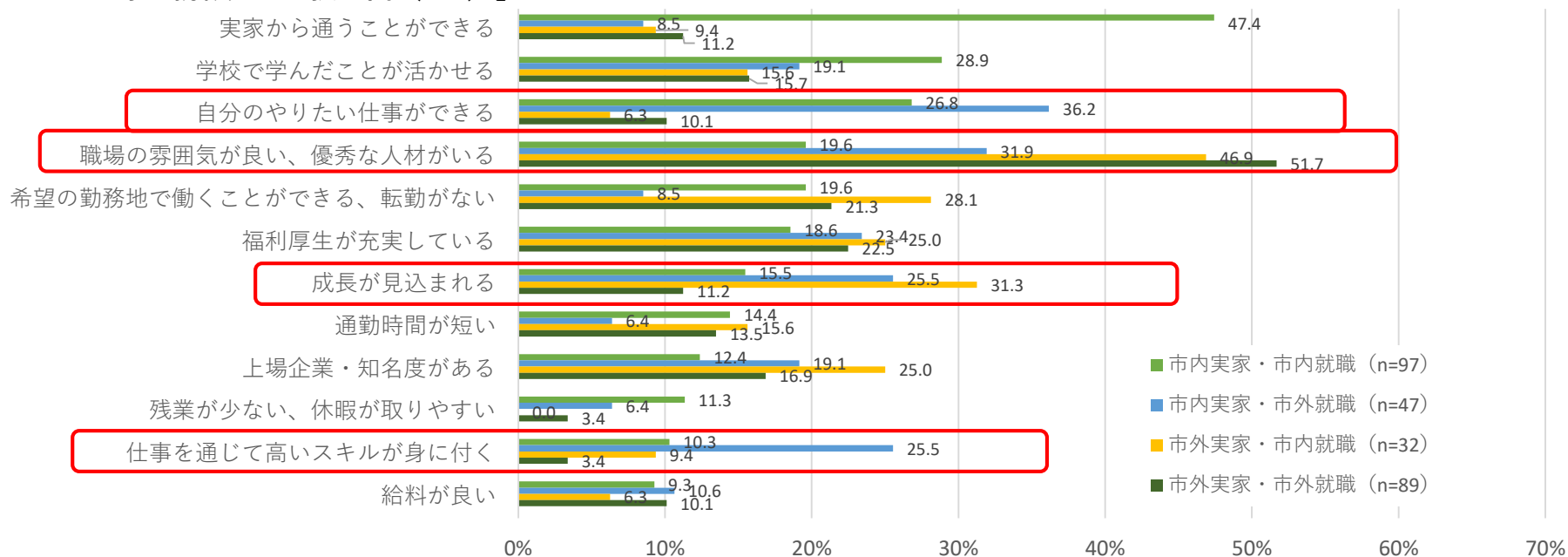
※福山市立大学、福山大学、福山平成大学、能開短大からデータ提供

【市内大学生の市内就職者・就職率】

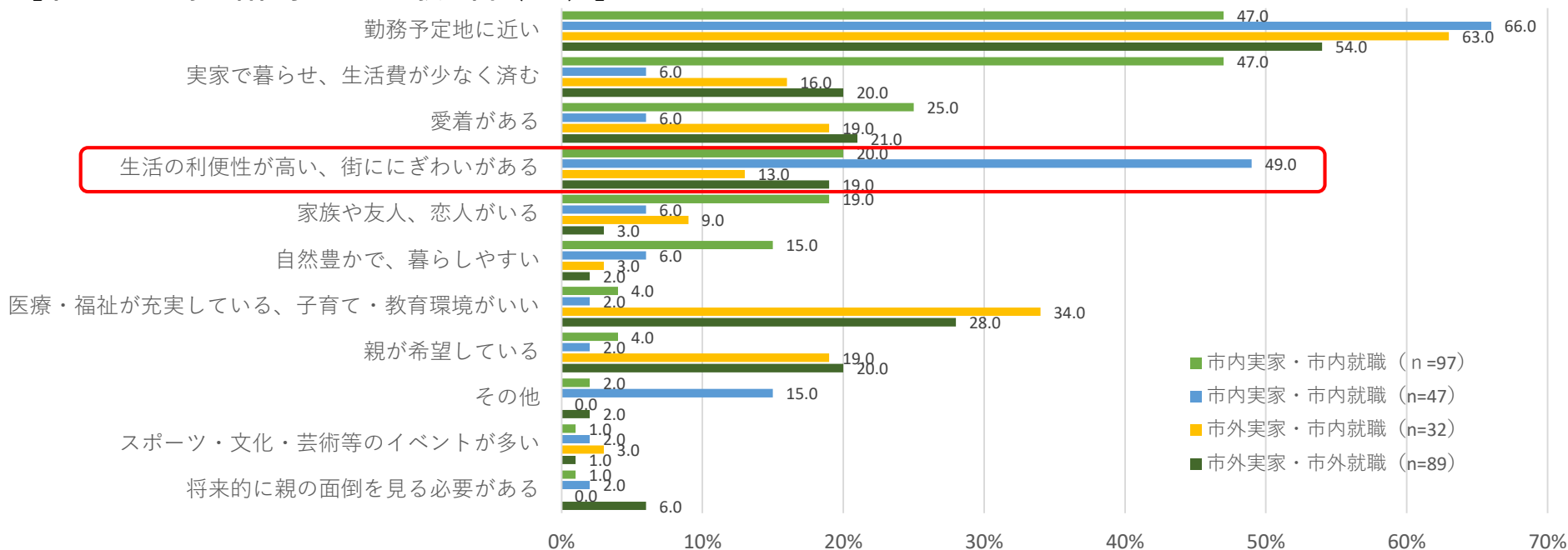


資料：福山市「大学生の就職に関する調査」(2024年4月)

【市内大学生等の就職先の選択理由（MA）】



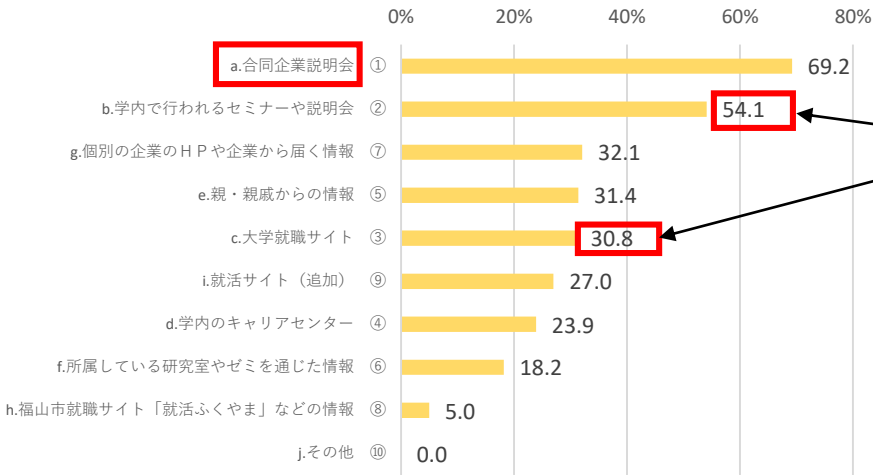
【市内大学生等の居住予定地の選択理由（MA）】



【就職活動に関する意識調査】

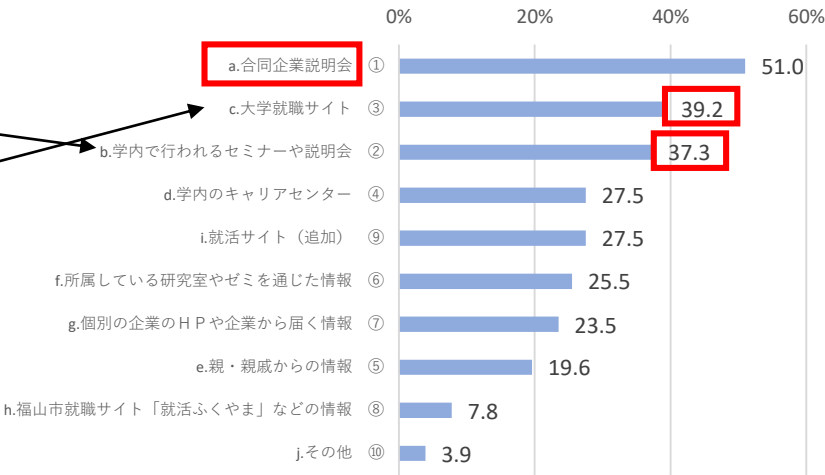
(圏域内の大学に通う学生) (MA)

就職情報の取得手段を教えてください。(圏域内大学生)



(広島県外に進学した学生 ※福山市出身者) (MA)

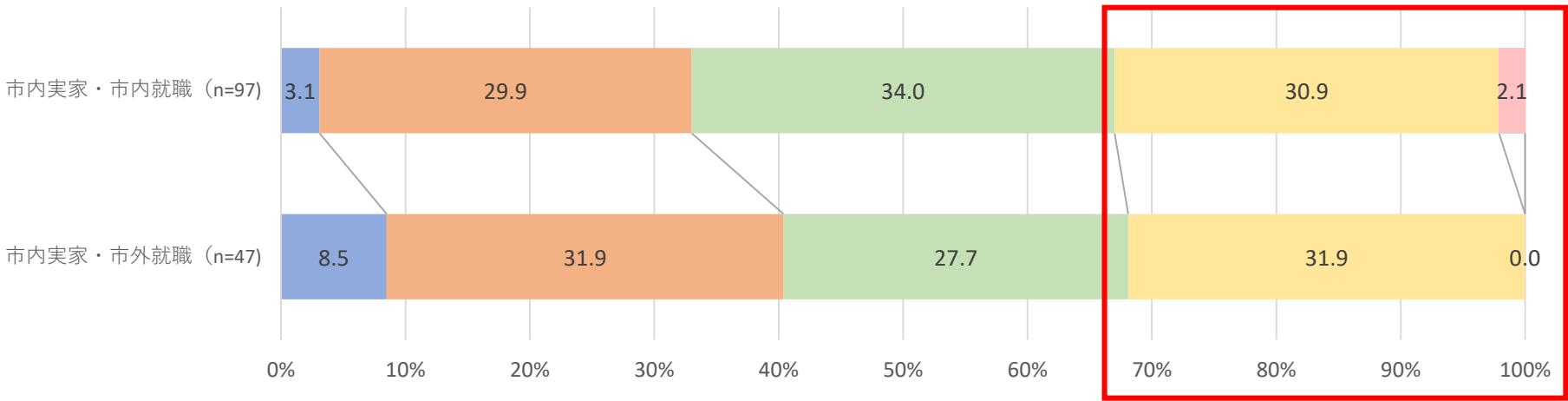
就職情報の取得手段を教えてください。(在校生)



資料：福山市「就職活動に関する意識調査」(2024年6月)

【市内大学生等の市内企業の認知度(SA)】

■ 30社以上 ■ 10社以上～30社未満 ■ 5社以上～10社未満 ■ 1社以上～5社未満 ■ 1社も知らない



資料：福山市「市内大学生等への就職に関するアンケート調査」(2023年11月～2024年1月)

市内大学生へのヒアリング

対象：市内の大学生 42名（大学1年生 6名・大学2年生 9名・大学3年生 17名・大学4年生 10名）
日程：2024年（令和6年）6月～10月 計12回 方法：対面での座談会形式

主な意見（居住予定地の選択について）

市内出身者 （市内居住希望）

- ・ 都会は人が多くて、あまり行きたくない。
- ・ 地域とのつながりがあり、住みやすく、愛着もある。
- ・ 自然が多く、生活しやすい。
- ・ 交通の便が悪く、郊外の商業施設に行きにくい。
- ・ 駅前に待ち時間などに勉強できるスペースが欲しい。
- ・ 新生活応援（クーポンやアドバイス）があれば良い。

（市外居住希望）

- ・ 希望する企業や業種（アニメ・ゲーム業界等）が都会に多い。
- ・ 親との距離や友達とのつながりを考え、広島市までの範囲で探した。
- ・ 電車やバスの本数が少なく、車がないと不便。
- ・ ライブに行きやすいのは大切（ライブが来ない）。
- ・ 家族がいるから、将来的にUターンするかも。
- ・ 都会に出ると疲れてしまうため、住み続けるなら福山が良いとよく聞く。大人になると住みやすいと思う。

市外出身者 （市内居住希望）

- ・ 習い事を通して地域のこどもと交流することで、福山愛が芽生えた。
- ・ 福山のイベントで人とのつながりができ、つながった企業で働きたいと思うようになった。
- ・ 地元は路面電車が走っている。福山は移動が不便。

（市外居住希望）

- ・ 希望する業種（サービス業・IT企業等）が都会に多い。
- ・ 都会は人と出会える機会が多いため、チャンスが増える。
- ・ 子育てを見据えて、親が近くにいる地元がいい。
- ・ 都会の小さな家に高い家賃を払いたくない。
- ・ 福山では近所の人とのあいさつもなく、地域とのつながりが持てなかった。（つながりがあれば愛着が湧くかもしれない）
- ・ 地元はバス社会で移動は便利だった。福山は不便。
- ・ 買い物や映画が1か所で完結する施設・場所がない。

主な意見（就職先の選択について）

資格を有する専門職を希望（看護、保育・教員など）

- ・ 勉強会や資格取得のサポート（休暇取得等）などスキルアップを支援してくれるところに就職したい。
- ・ 市内の保育所・小学校に就職した場合、奨学金返済を支援してほしい。

その他の業種を希望（製造業、小売業など）

- ・ 備後圏域の企業を集めた合同企業説明会は地元就職やUターン就職を進めるために大事だと思う。
- ・ インターンや企業説明会で話を聞いたことで、希望の会社が決まった。
- ・ インターンは会社の雰囲気や人間関係を知ることができると思う。インターンをきっかけに選考を受けた。
- ・ 長期的に働きたいため、給与や休日の他に直近の離職率も重視する。
- ・ テレワークやフレックスタイムが導入されていて、働き方が調整できるところで働きたい。
- ・ 昇進等で評価してくれる、やりがいを感じられる企業に就職したい。
- ・ 大手企業には、優秀な人が集まっているイメージ。その人たちを見てスキルアップしながら働きたい。

市内大学等へのヒアリング（5校）

主な意見（地元就職について）

- ・ 地元就職率向上のためには、企業の「給与待遇の向上」や「情報発信強化」、「休暇の取得しやすさ」が必要な要素である。賃上げの流れの中で、給料を気にする学生が増えてきている。また、福利厚生に加え、女性活躍や子育てのしやすさも重要視している。
- ・ 企業の経営理念などが見える化され、共有されているかも見ている。
- ・ 行政には、インターンシップの促進や働きやすい職場環境づくりの促進を求める。
- ・ インターンシップはミスマッチを防ぐことにもつながり、インターンシップをきっかけに入社する学生がいる。特に企業には1日ではなく、5日間などの本格的なインターンシップを実施していただきたい。

広島県における若年層の社会減少要因調査分析

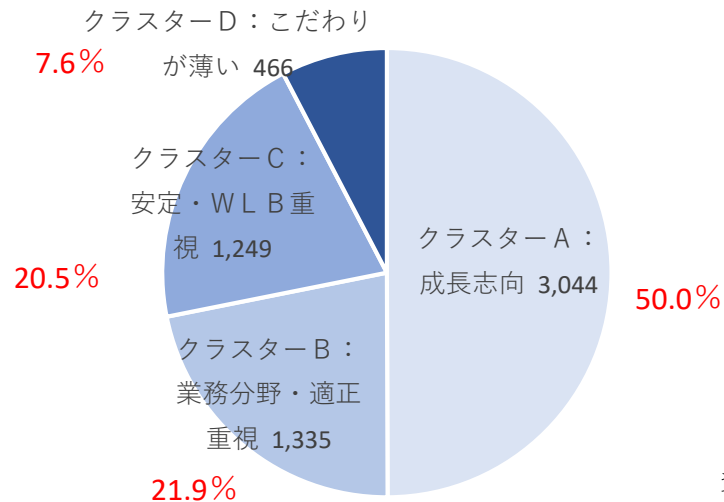
- ・県内大学生と広島県出身の県外大学生（20,100人）のうち、約3割が就職先、約7割が居住地を重視して就職先を決めています。
- ・アンケート調査（就職先／居住地を選択する際に重視する項目）に対する回答に基づき、8つのクラスター（集団）に分類・分析することで、クラスターごとの流出理由を把握できます。

【就職時に重視すること】

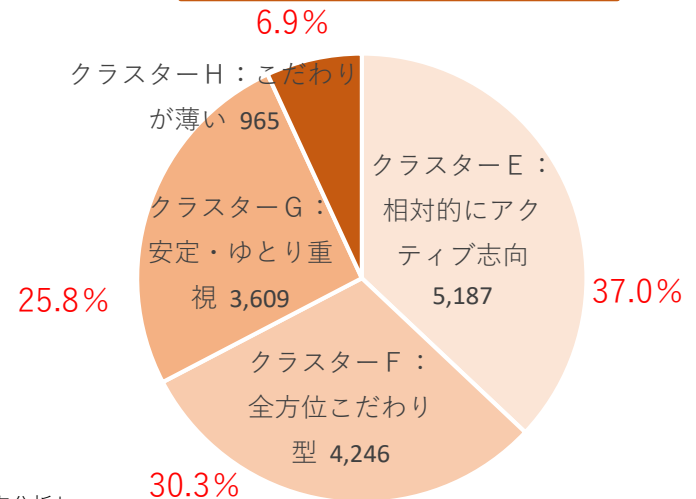
就職先重視
30.3%

居住地重視
69.7%

就職先重視：6,094人



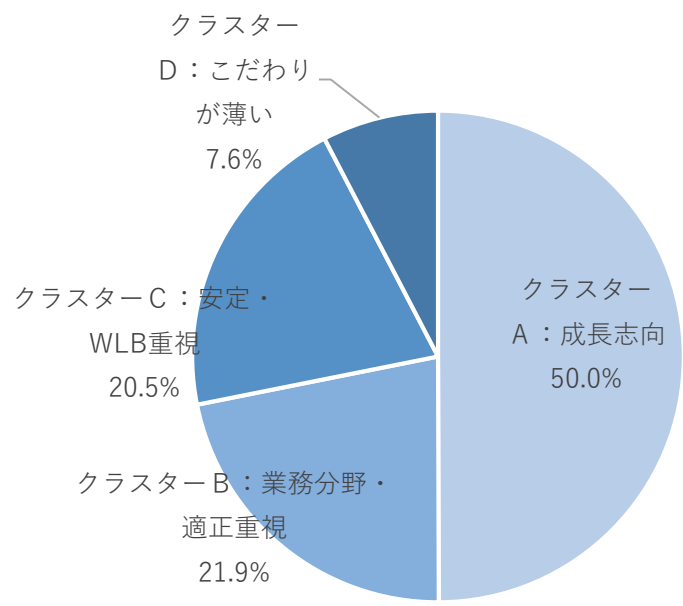
居住地重視：14,006人



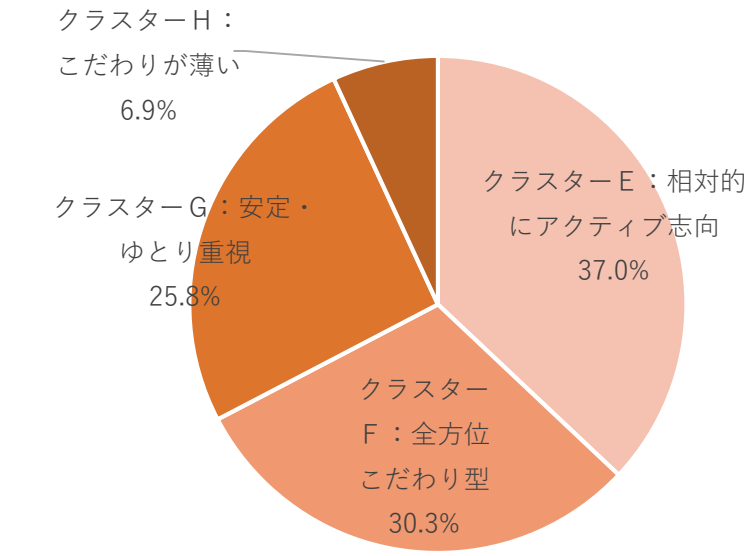
資料：広島県「若年層の社会減少要因調査分析」

※ここで算出している人数は、学校基本統計調査の実数と、アンケートの回答傾向をもとに算出した概算値である。そのため、相応の誤差は生じるものと想定されるので、人数は概数を把握するための目安と理解されたい。
※端数処理により、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

【就職先重視のクラスター種別と流出理由等】



【居住地重視のクラスター種別と流出理由等】



資料：広島県「若年層の社会減少要因調査分析」

就職先重視	A 成長志向 流出率 67.4% 業種・職種、給与等の待遇、自己の成長などを重視
	推定流出理由 主に民間の就職支援サイト等から情報収集している中で、選択肢の中心が都会の大企業となっている。成長イメージが持てる企業や大企業が広島県内にもあることに気づいていないため、流出している人が多数いるのではないかと推定される。
	B 業務分野・適正重視 流出率 60.4% 自分が望む業務分野・仕事内容で働けるか、自分の適性が生かせるかを重視
	推定流出理由 業務内容が調べやすいのは、民間の就職支援サイトであり、掲載等が充実した大企業・有名企業になってしまう。広島県内の企業における具体的な仕事内容について、情報を収集しない、あるいはできないことから、流出につながっているのではないかと推定される。
居住地重視	C 安定・WLB重視 流出率 54.0% 長く働けるか、転勤がないか、福利厚生が良いかなど安定したWLBを重視
	推定流出理由 希望する職種・業種で働けるのであれば、実際に勤務する職場環境（新しさ・快適さ等）が最後の選択に影響するのではないかと推定される。
	E 相対的にアクティブ志向 流出率 33.4% 文化・芸術に触れる機会、スポーツに楽しむ機会など活動的な項目を重視
	推定流出理由 アクティブ志向であり、漠然と広島県環境に物足りなさを感じている。大都市には何でもあるというイメージに引きずられて、大都市へ流出している。
居住地重視	F 全方位こだわり型 流出率 31.1% 多くの項目を重視
	推定流出理由 居住環境や自己の成長重視の場合は大都市圏、自分の能力が生かせることやWLBを重視する場合は近隣県へ流出しているのではないかと推定される。
	G 安定・ゆとり重視 流出率 29.7% 精神的なゆとり、買い物の環境、医療体制、老後の暮らしなど、安心やゆとりに関する項目を重視
	推定流出理由 しがらみや性別に基づく固定観念、精神的なゆとりが持てるか、といった項目について、広島県に対してネガティブなイメージがあり、生活するイメージを持っていないまま流出しているのではないかと推定される。

福山で就職するかどうか悩んでいる
大学3年生



地元企業のことがわからなくて不安。インターンシップや説明会等の機会を大切にしたい。

自分のやりたい仕事ができる職場、福利厚生だけでなくスキルアップができる職場で働きたい。

もっと生活の利便性が高く、にぎわいがあるといいな。

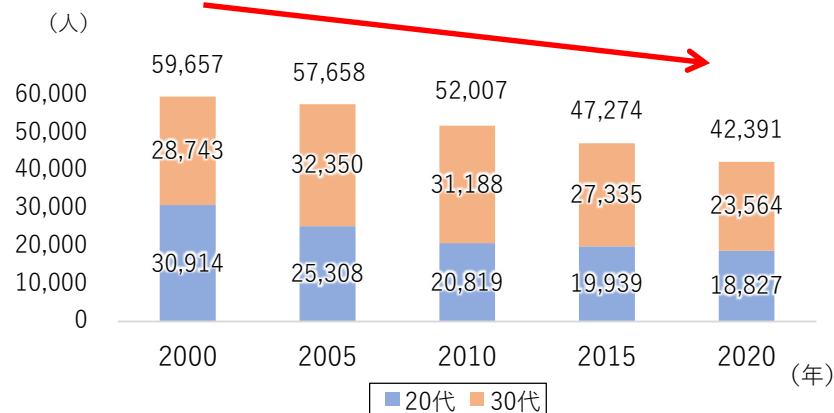
地域とのつながりができると、愛着が生まれると思う。

(3) 20～30歳代・結婚・子育て期

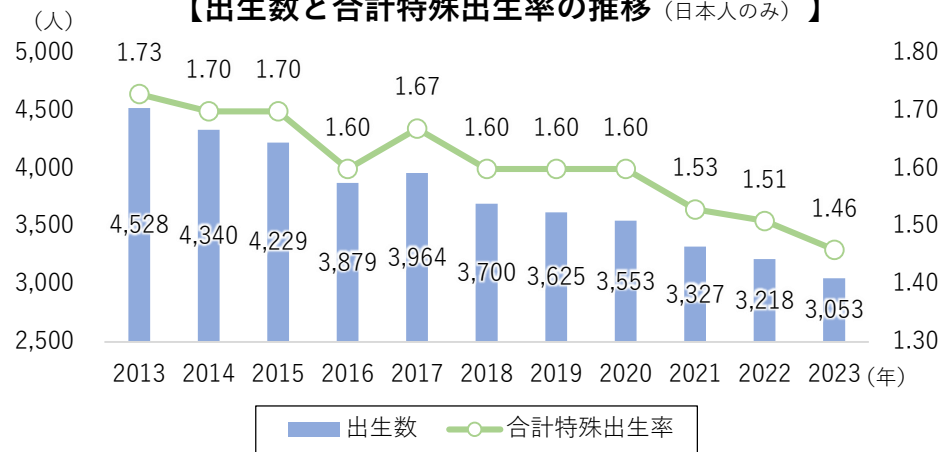
①人口関連データ

- 20～30歳代の女性の数が減少し続けています。
- 合計特殊出生率は、全国や広島県と比べて高い数値を維持しているものの、下降傾向が続いていることに加え、若い世代の女性の数が減少していることが、出生数の減少に影響しています。
- 結婚については、男女ともに未婚率が上昇しています。また、平均婚姻年齢も上昇傾向にあり、晩婚化が進行しています。

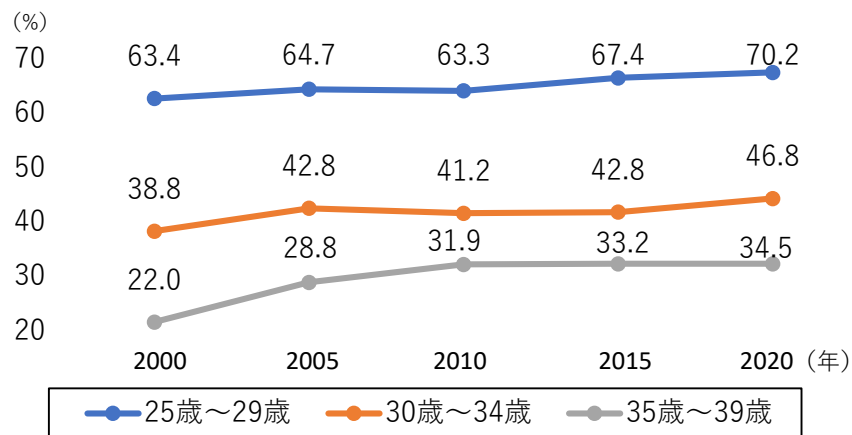
【20歳代・30歳代女性の人口（日本人のみ）】



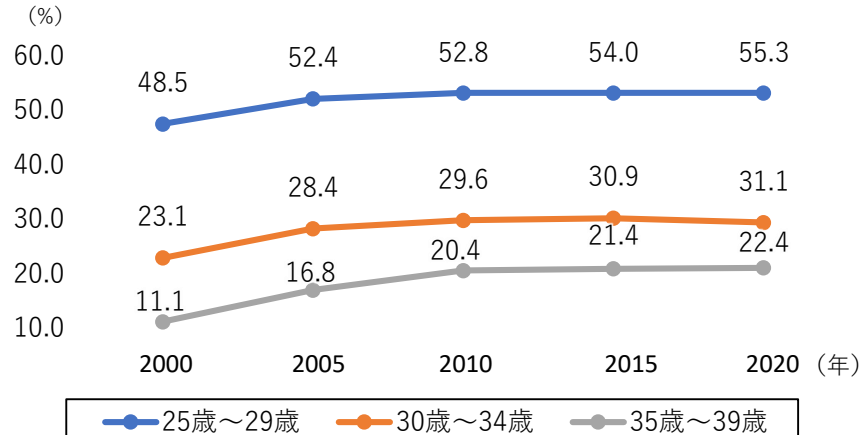
【出生数と合計特殊出生率の推移（日本人のみ）】



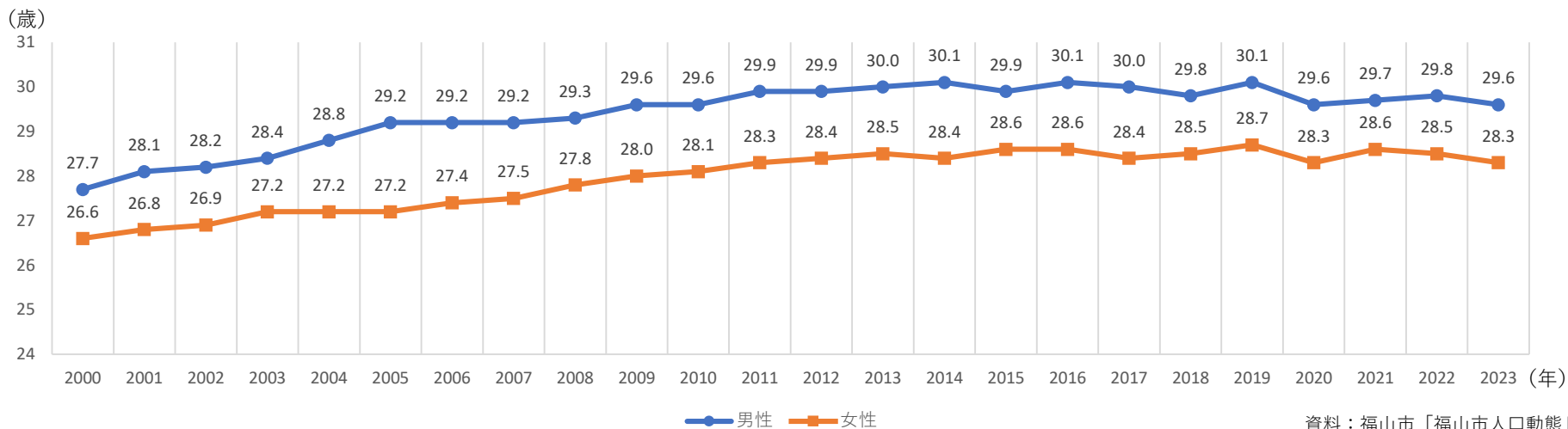
【男性未婚率の推移（外国人を含む）】



【女性未婚率の推移（外国人を含む）】



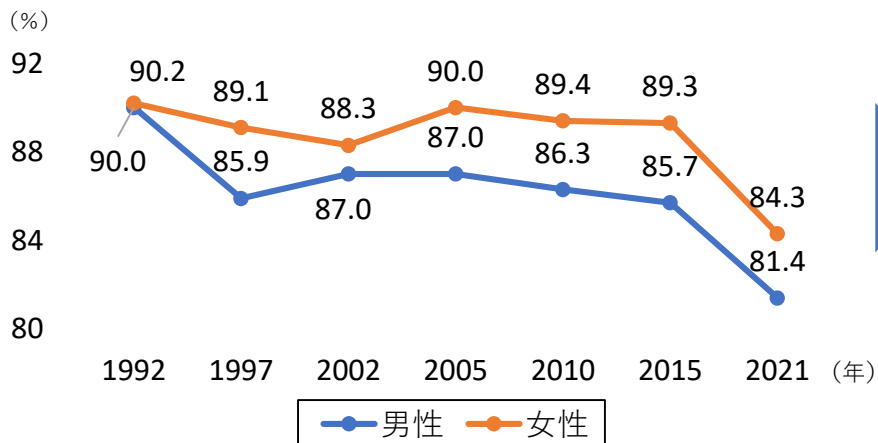
【平均婚姻（初婚者）年齢の推移】



②意識関連データ（出会い・結婚）

- 「いずれ結婚するつもり」と回答した未婚者が減少しているものの、**8割以上が結婚するつもり**と回答しています。そのうち、現在独身でいる理由の多くは「**適当な相手とまだ巡り会わないから**」となっています。
- 結婚にあたって経済的に不安を感じている人は約9割**います。不安を感じる主な原因として「**住居費**」が最も多く挙げられています。
- 女性の結婚したくない理由として「**家事・育児等を背負うことになるから**」という調査結果もあります。

【「いずれ結婚するつもり」と回答した未婚者（18歳～34歳）の割合】



【未婚者が独身でいる主な理由】

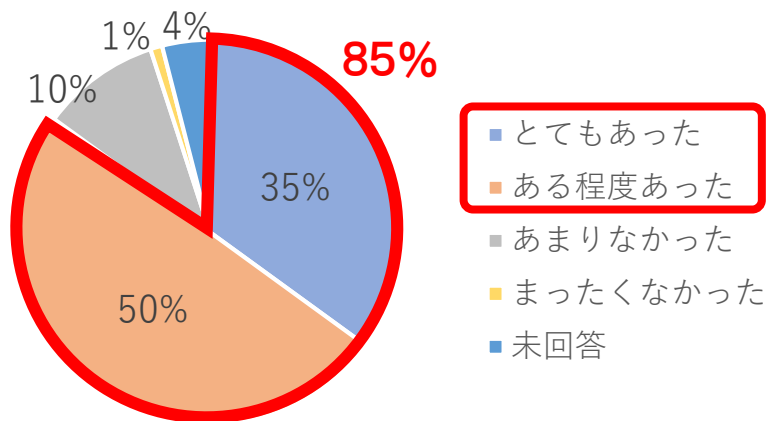
【25歳～34歳 男性】

- ①**適当な相手とまだ巡り会わないから** 43.3%
- ②独身の自由さや気楽さを失いたくないから 26.6%

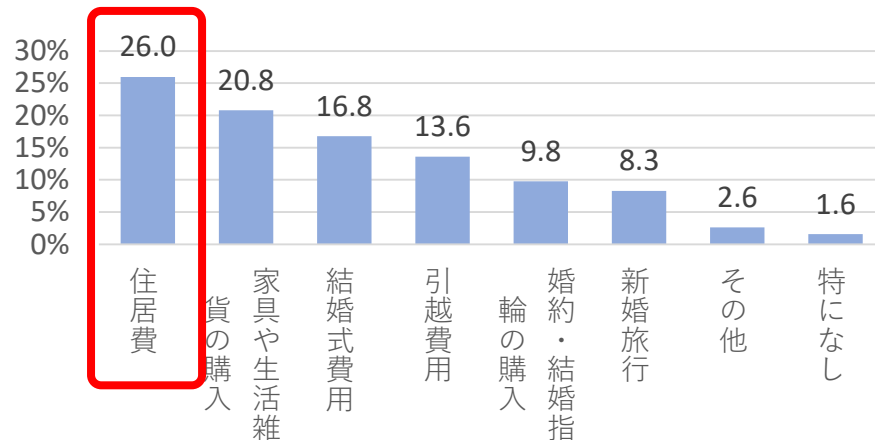
【25歳～34歳 女性】

- ①**適当な相手とまだ巡り会わないから** 48.1%
- ②独身の自由さや気楽さを失いたくないから 31.0%

【結婚にあたって経済的不安があった人の割合】

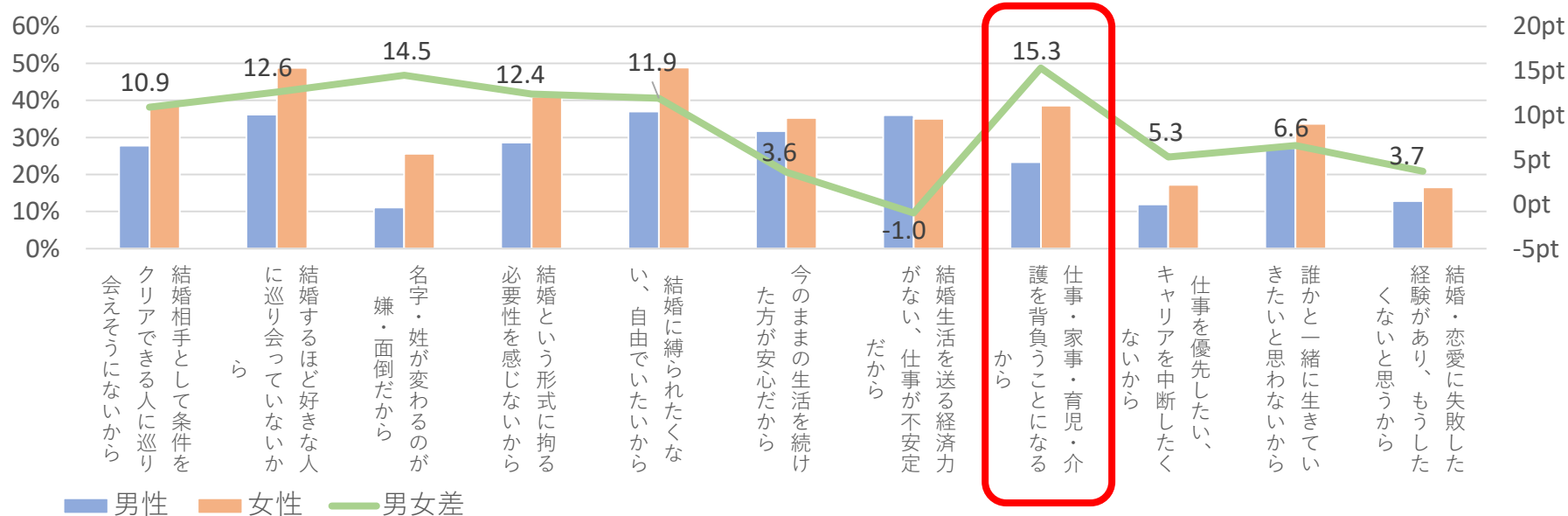


【結婚に伴う経済的不安で思い浮かべるもの（MA）】



資料：こども家庭庁「令和5年度結婚新生活支援事業に係るアンケート調査」

【今後、積極的に結婚したくない理由（20歳～39歳未婚者）（MA）】



資料：株式会社マーケティングコミュニケーションズ（調査実施者：内閣府）「令和3年度人生100年時代における結婚・仕事・収入に関する調査」

大学生・社会人へのヒアリング

対象：市内大学の学生、民間企業の若手職員（計 21 人）

日程：2023 年（令和 5 年）6 月 12 日、7 月 3 日、7 月 6 日 方法：対面での座談会形式

主な意見

○出会いの機会の現状

【大学生】

- ・コロナの影響で飲み会や合コンが減り、出会いがない。
- ・学部内やバイト先だけでは、出会いが限られる。
- ・マッチングアプリは「婚活」のイメージが強く、抵抗感がある。

【社会人】

- ・社会人になって学生の頃より出会いが減った。
- ・職場内には同年代の未婚者が少なく出会いがない。
- ・アプリで出会い結婚した知り合いもいる。

○理想とする相手

【大学生】

- ・収入よりも価値観が合うかを重視する。
- ・家事の分担ができる人
- ・安定した職業に就いている人

【社会人】

- ・趣味や価値観が合う人
- ・金銭感覚や生活するうえでの感覚が合う人
- ・家事分担などについて話し合いができる人

○理想とする出会い方

【大学生】

- ・共通の趣味（ライブやスポーツサークル、カフェなど）を通じた出会いや友人からの紹介で出たい。
- ・同窓会という形での出会いも良いと思う。

【社会人】

- ・共通の趣味（スポーツ観戦やキャンプなど）を通じた出会いや友人からの紹介で出たい。
- ・同窓会や異業種交流会など、なるべく自然に出たい。

○結婚に対する考え

【大学生】

- ・30歳までに結婚したいと思っている。
- ・結婚は仕事に慣れて、経済的にも安定してからが良い。
- ・結婚したら希望どおりに働けないのではないかと不安。

【社会人】

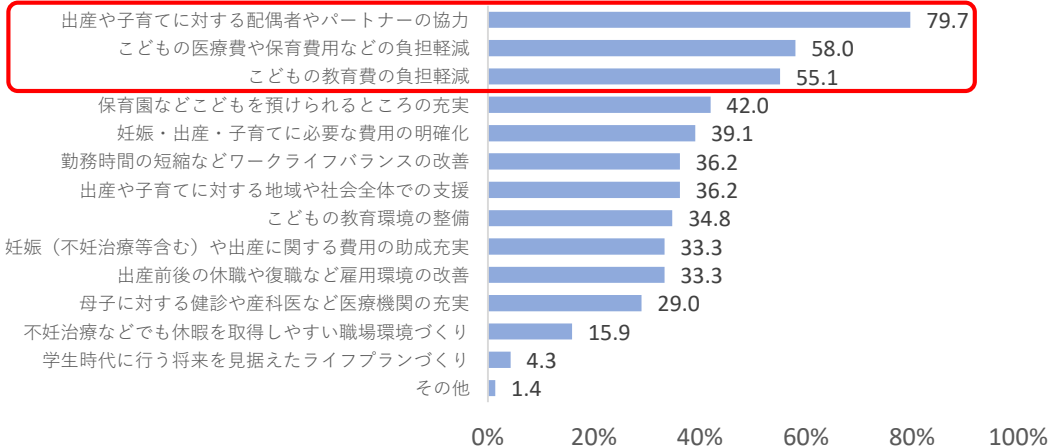
- ・早めに結婚したいと思っているが、40歳までに結婚できなかったら、結婚しないかもしれない。
- ・結婚することで自分の時間が減るのが不安。

③意識関連データ（妊娠希望）

- 理想のこどもの人数をもつための条件として、**出産や子育てに対する配偶者やパートナーの協力**や**こどもの医療費や保育・教育費用の負担軽減**が求められています。
- 仕事と不妊治療の両立ができず、仕事または不妊治療をやめる等の影響がでている人が35%います。

【理想のこどもの人数をもつための条件（MA）】

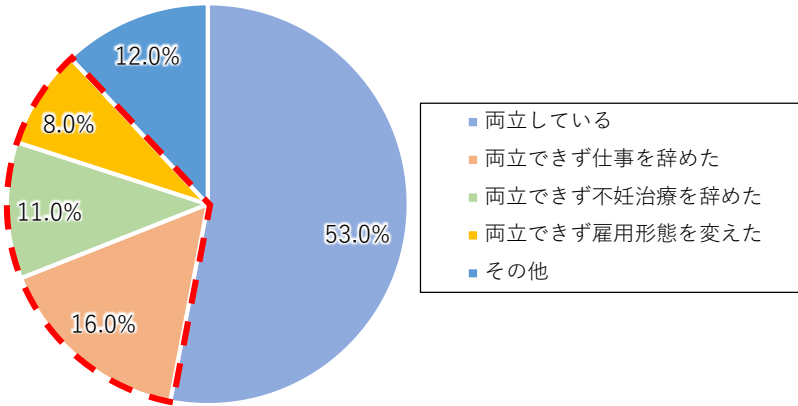
(N=69)



資料：福山市「市政に対するニーズ把握のための定量調査」（2018年）
福山市在住、既婚の回答者を集計

【仕事と不妊治療の両立状況（SA）】

(N=265)



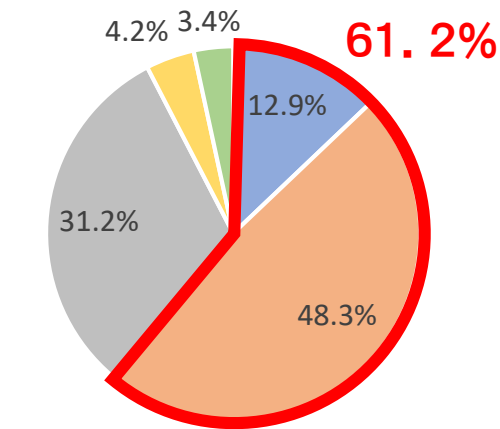
資料：厚生労働省「不妊治療と仕事の両立に係る諸問題についての総合的調査研究事業」（2017年）

④意識関連データ（子育て中）

- 就学前児童の保護者の約6割、小学校児童の保護者の約7割が子育てに不安や負担を感じており、その主な理由は経済的負担に関することです。
- 就学前児童・小学校児童の保護者ともに、3人を理想のこどもの人数とする人の割合が減っています。**理想のこどもの人数を持たない理由として、経済的・時間的・身体的負担を挙げる割合が高くなっています。**また、子育て支援策としては、こども医療費の助成や仕事と家庭生活の両立支援、保育サービス・教育環境の充実が求められています。
- 子育てを地域で支えられていると感じる人の割合が減っています。
- 父親の約8割が「仕事が忙しい」「職場に取りにくい雰囲気がある」等の理由で育休が取れていない状況です。

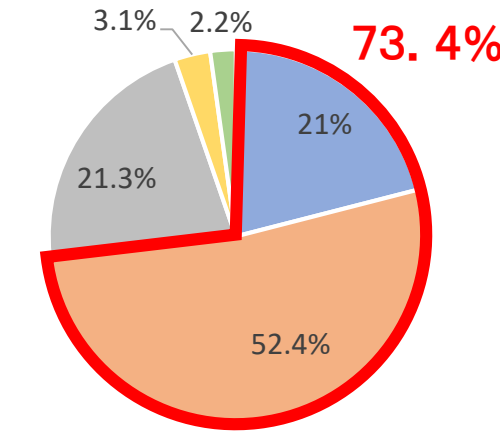
【子育てに関して不安や負担などを感じたこと〔SA〕】

就学前児童の保護者



- 非常に不安や負担を感じる
- なんとなく不安や負担を感じる
- あまり不安や負担を感じない
- 全く感じない
- 無回答

小学校児童の保護者



- 非常に不安や負担を感じる
- なんとなく不安や負担を感じる
- あまり不安や負担を感じない
- 全く感じない
- 無回答

【子育てに関して悩んでいること（上位5位）】

就学前児童の保護者

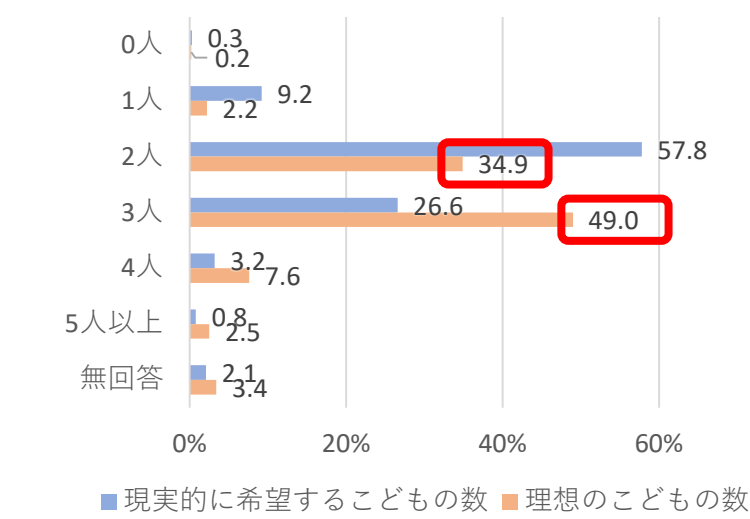
- ①子育てや教育にお金がかかりすぎる（45.5%）
- ②病気や発育・発達に関する（39.4%）
- ③食事や栄養に関する（32.7%）
- ④こどもの教育に関する（32.2%）
- ⑤こどもとの時間を十分にとれない（29.0%）

小学校児童の保護者

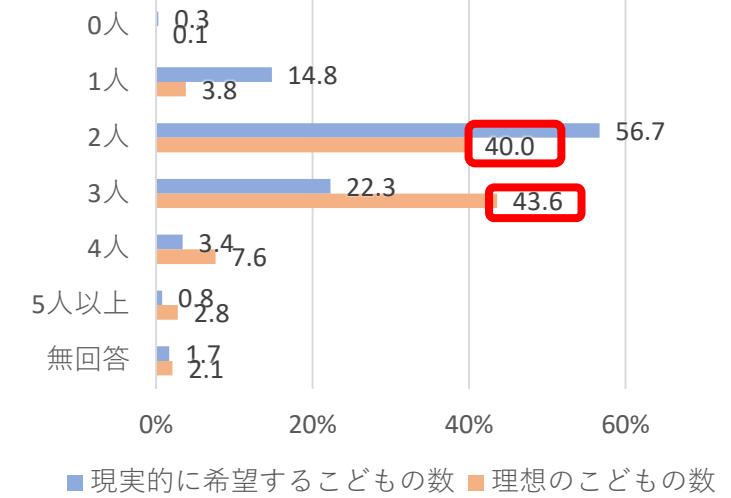
- ①子育てや教育にお金がかかりすぎる（53.3%）
- ②こどもの教育に関する（37.6%）
- ③病気や発育・発達に関する（29.5%）
- ④友だちづきあい（いじめなどを含む）に関する（27.1%）
- ⑤こどもとの時間を十分にとれない（26.2%）

就学前児童の保護者

【理想のこどもの人数】 2018年

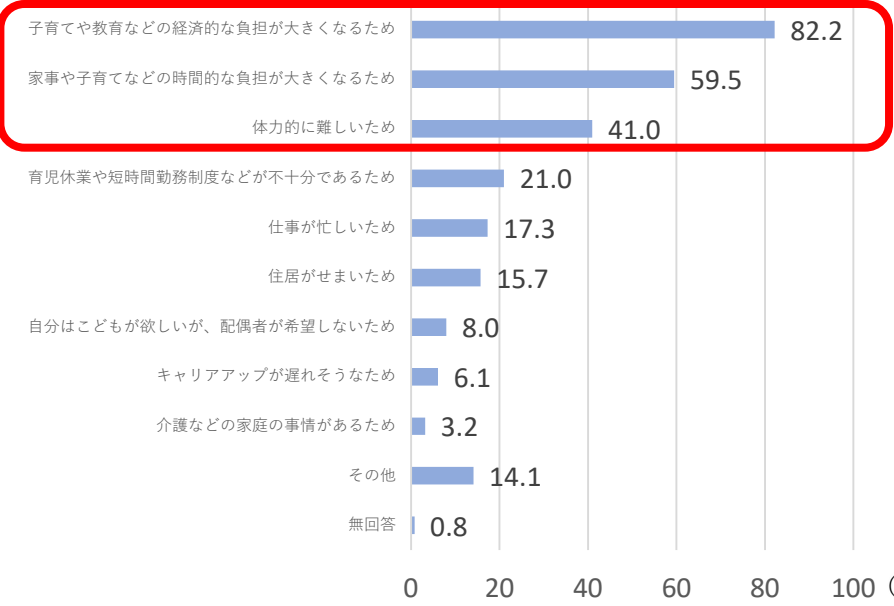


2024年

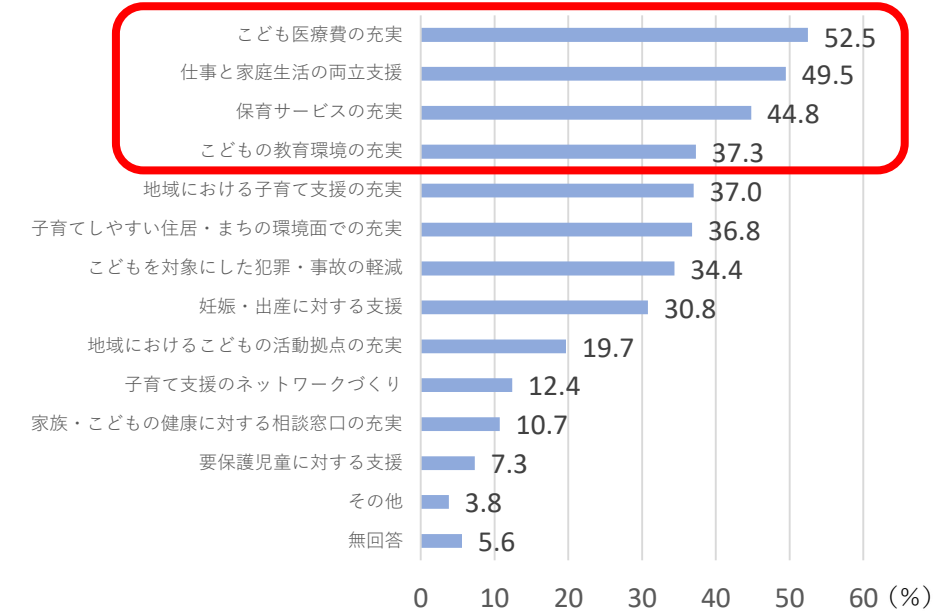


資料：福山市「福山市こども・子育て支援事業計画に関するニーズ調査（就学前児童の保護者）」

【現実的に希望する人数と理想の人数が異なる理由（MA）】



【子育てをする中で有効だと感じる支援・対策（MA）】

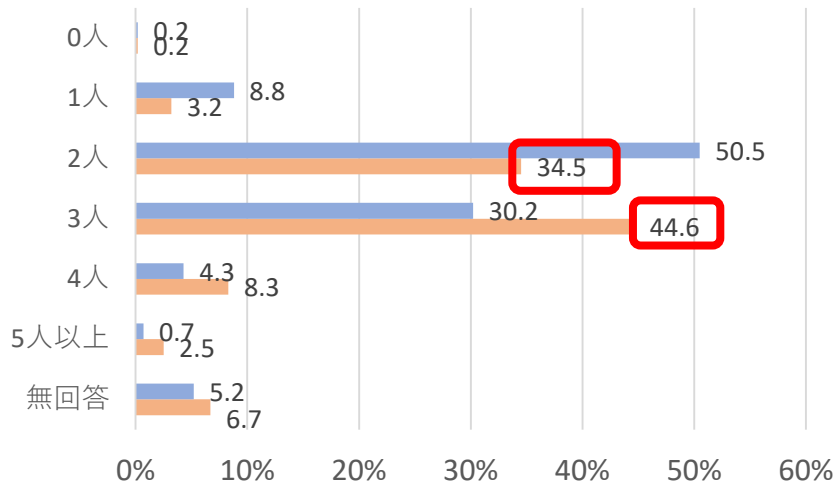


資料：福山市「福山市こども・子育て支援事業計画に関するニーズ調査（就学前児童の保護者）」（2024年）

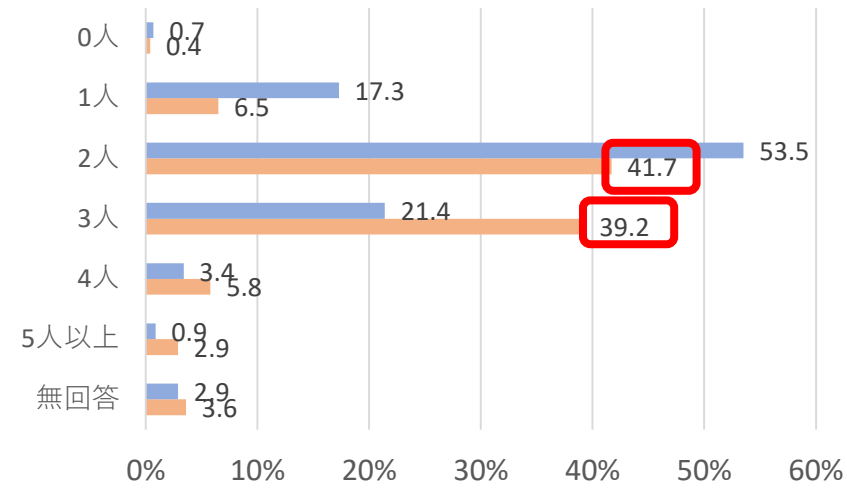
小学校児童の保護者

【理想のこどもの人数】

2018年



2024年

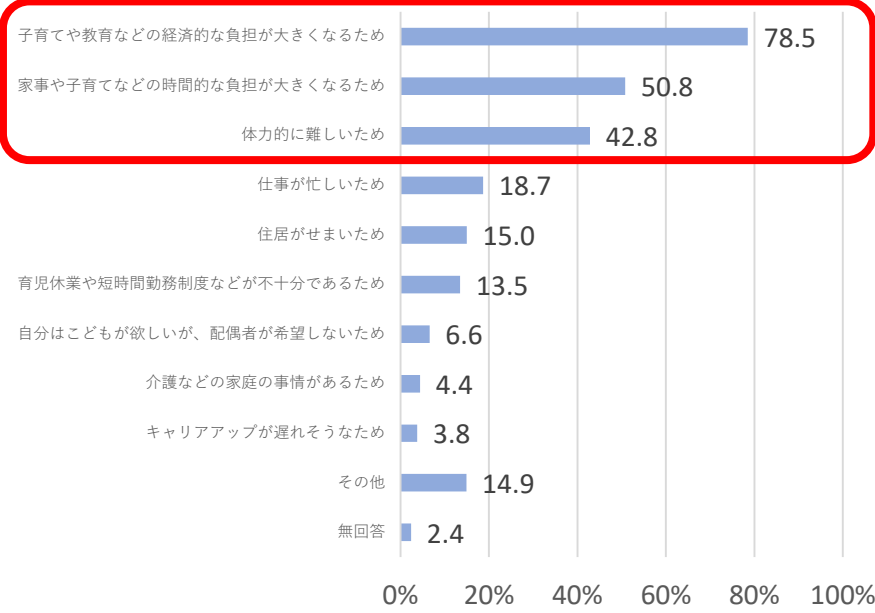


■ 現実的に希望するこどもの数 ■ 理想のこどもの数

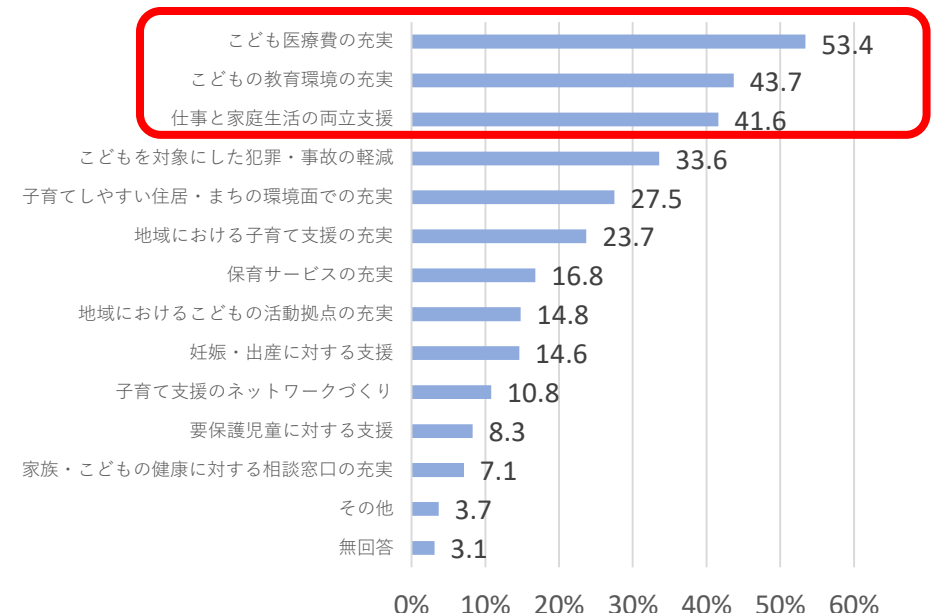
■ 現実的に希望するこどもの数 ■ 理想のこどもの数

資料：福山市「福山市こども・子育て支援事業計画に関するニーズ調査（小学校児童の保護者）」（2024年）

【現実的に希望する人数と理想の人数が異なる理由（MA）】

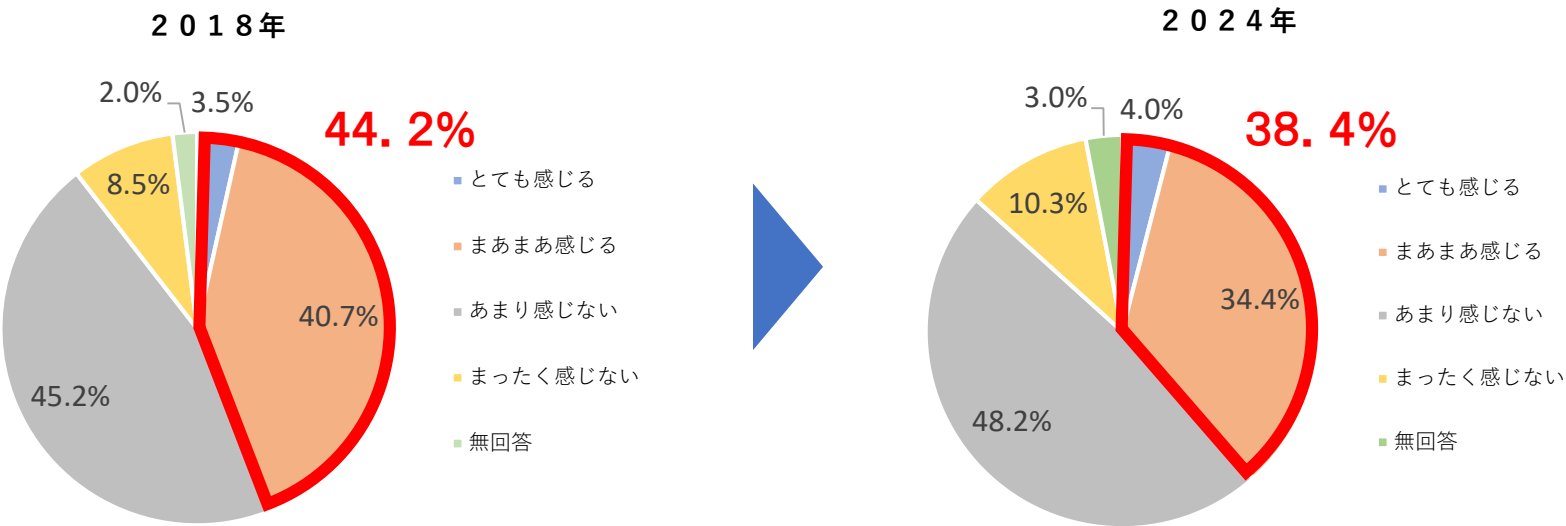


【子育てをする中で、有効だと感じる支援・対策（MA）】



資料：福山市「福山市こども・子育て支援事業計画に関するニーズ調査（小学校児童の保護者）」（2024年）

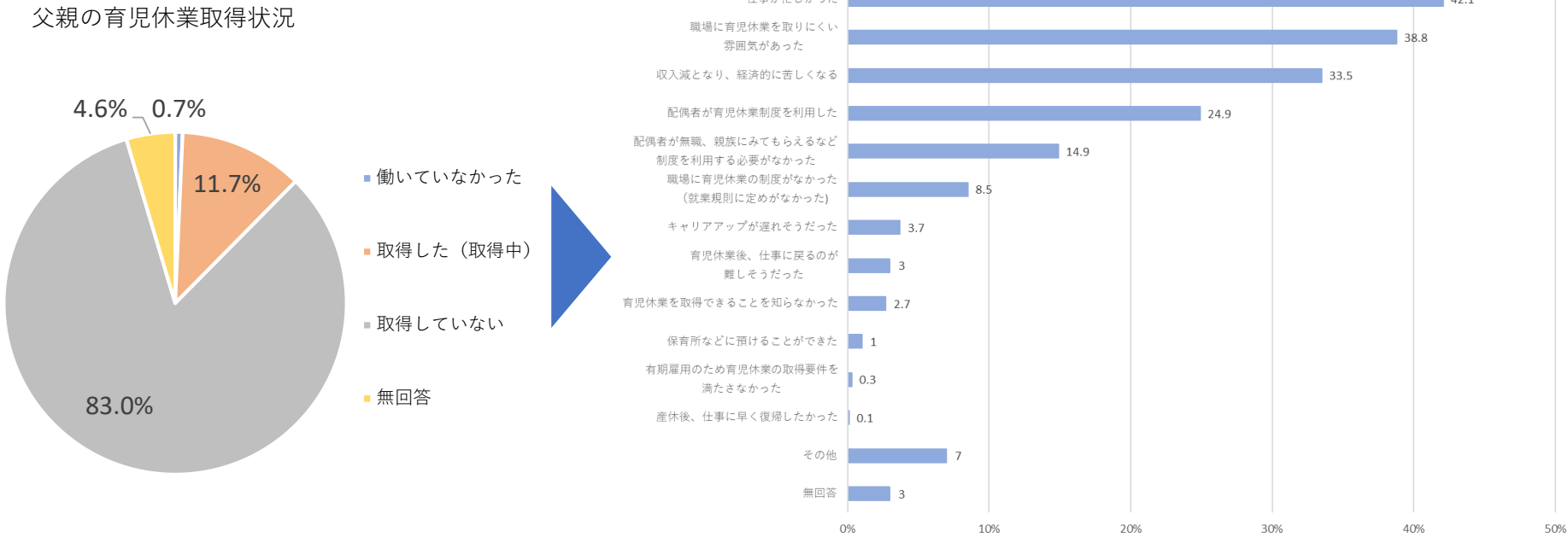
【子育てが地域で支えられていると感じる人の割合】



資料：福山市「福山市こども・子育て支援事業計画に関するニーズ調査（就学前児童の保護者）」

【父親の育児休業の取得状況】

【取得していない理由（MA）】

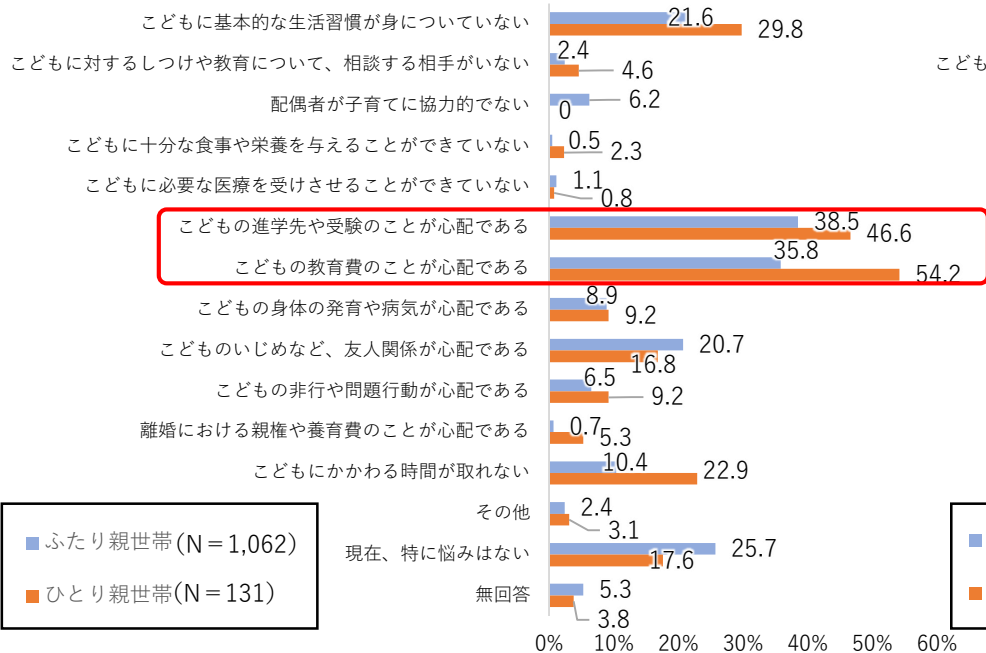


資料：福山市「福山市こども・子育て支援事業計画に関するニーズ調査（就学前児童の保護者）」（2024年）

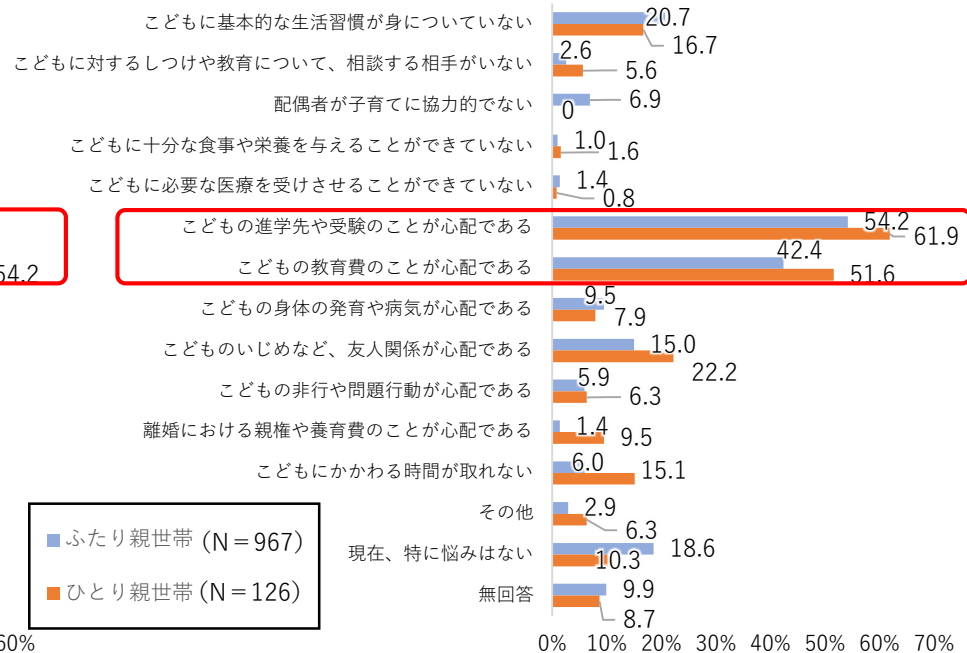
ひとり親家庭

【子どもについて悩んでいること（MA）】

《小学5年生保護者》

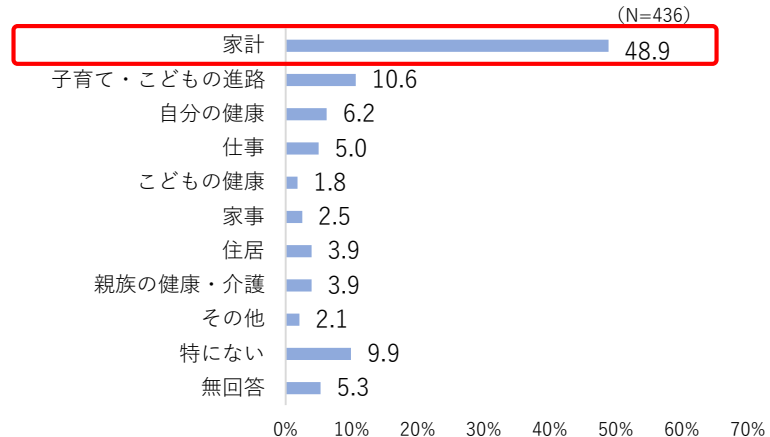


《中学2年生保護者》



資料：福山市「福山市子どもの生活に関する実態調査」（2024年）

【母子世帯の母が現在困っていること（MA）】



資料：広島県「ひとり親家庭等自立支援施策の需要調査」（2024年9月）
母子世帯の回答

子育て世代等の声（こども未来づくり100人委員会）

対象：第1回こども未来づくり100人委員会に参加した131人（子育て世代・企業・学生）

方法：参加者が日頃感じている困りごとを付箋に書き出す

主な意見

○居場所づくり

- ・ 親同士が交流する場所、機会が少ない
- ・ こどもが遊べる場所が少ない
- ・ 気軽に頼れる人や場所が欲しい
- ・ 地域の人と気軽に話ができる場所
- ・ こどもたちが立ち寄れる場所があればよい
- ・ 親が息抜きできる場所や時間
- ・ 病児・病後児保育の場所が少ない利用しにくい
- ・ 子育てに一人で悩んでいる母親の居場所

○父親の育休取得

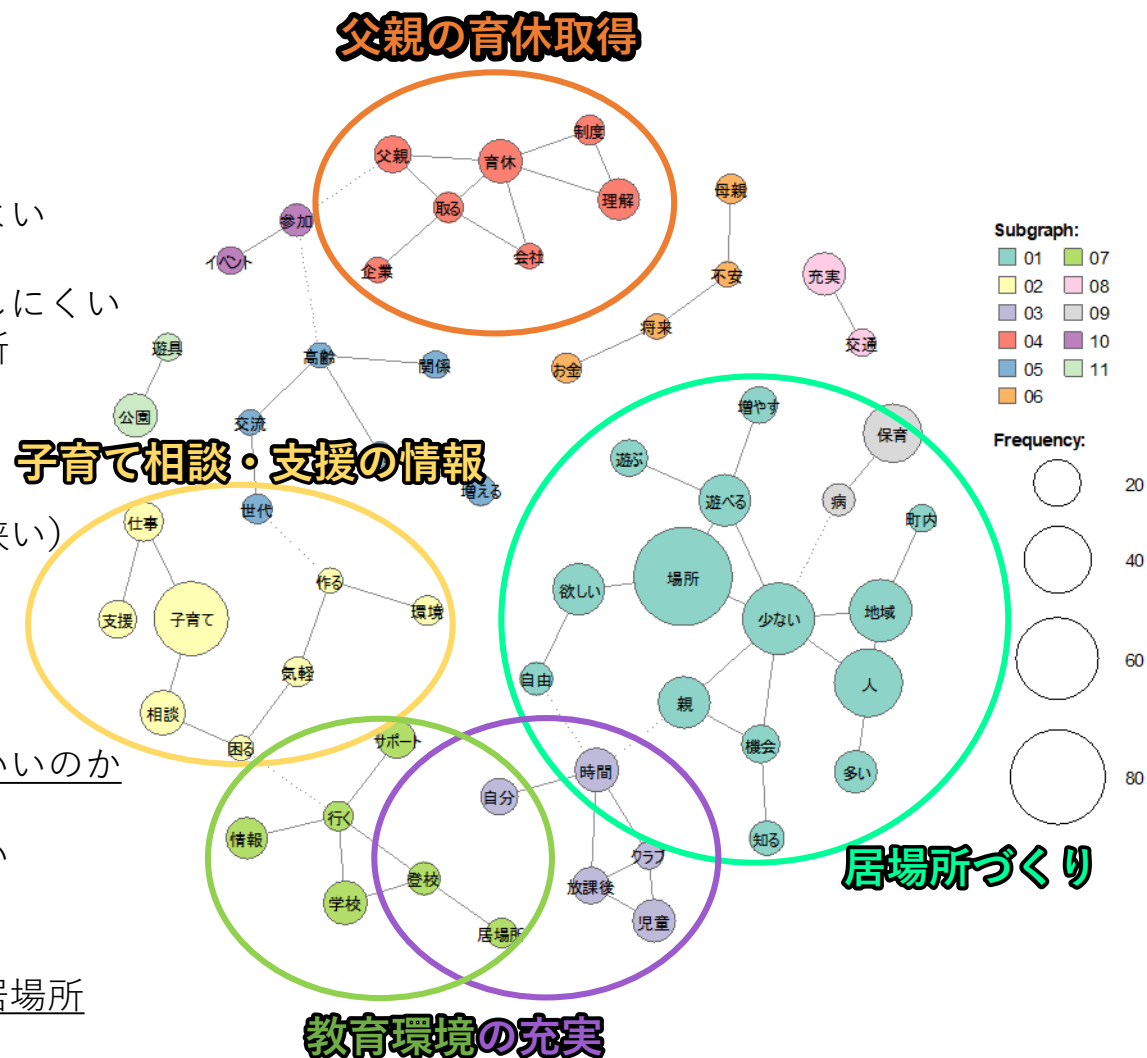
- ・ 父親の育休が取得しにくい
- ・ 育休への理解がまだまだ低い（肩身が狭い）
- ・ 育休が取れるような雰囲気作りが大切
- ・ 社会や会社の理解が必要

○子育て相談・支援の情報

- ・ 子育てに困った時にどこに相談すればいいのかわからない、気軽に誰かに相談したい
- ・ ひとり親への子育てのサポートが少ない

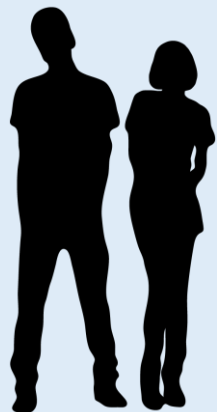
○教育環境の充実

- ・ 不登校で学校に行っていないこどもの居場所
- ・ 仕事と放課後児童クラブの時間の調整



重点ペルソナ④ 未婚男女

結婚を希望している25～39歳
未婚男女



結婚を考えたいけど、なかなかいい出会いがない。趣味や仕事を通じて出会いたい

早めに結婚したいと思っているが、仕事に慣れて、経済的に安定してからがいいかも。

結婚後、仕事と家事・育児を両立できるか不安。自分の時間もなくなる。

重点ペルソナ⑤ 子育て共働き女性

理想のこども数（2人目・3人目）を持ちたいと考える25～39歳
子育て共働き女性



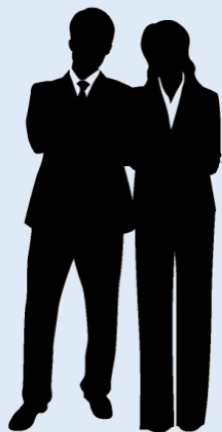
2人目・3人目を考えているけど、経済的負担や子育てに係る時間的負担が心配。

夫の会社に休暇制度はあるけど、取りにくい雰囲気。こどもの体調不良などで休むのはいつも私。

地域の人や子育てしている親同士で気軽に交流・相談できる場所があるといいな。

ペルソナ⑥ 共働き夫婦

妊娠を希望している25～39歳
共働き夫婦



結婚して3年。そろそろこどもが欲しいが、経済面で不安。

不妊治療にも行きたいけど、仕事との両立が難しい。

ペルソナ⑦ シングルマザー

2人のこどもを育てている25～39歳
シングルマザー



子育てや教育にお金がかかるので、経済的に不安。

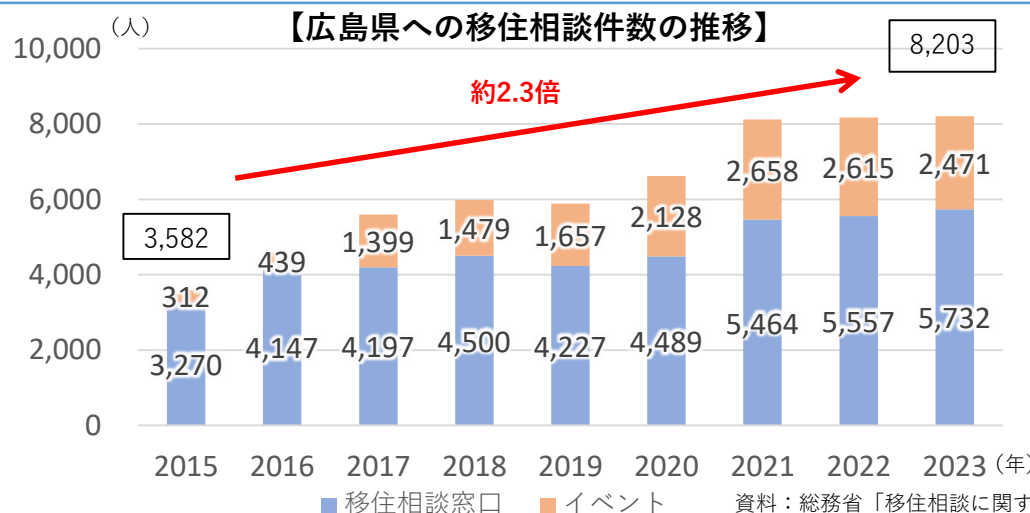
頼れる人や気軽に相談できる人が近くにいたらいいな。

子育てとの両立がしやすい、柔軟な働き方ができる職場で働きたい。

(4) 20～30歳代・移住

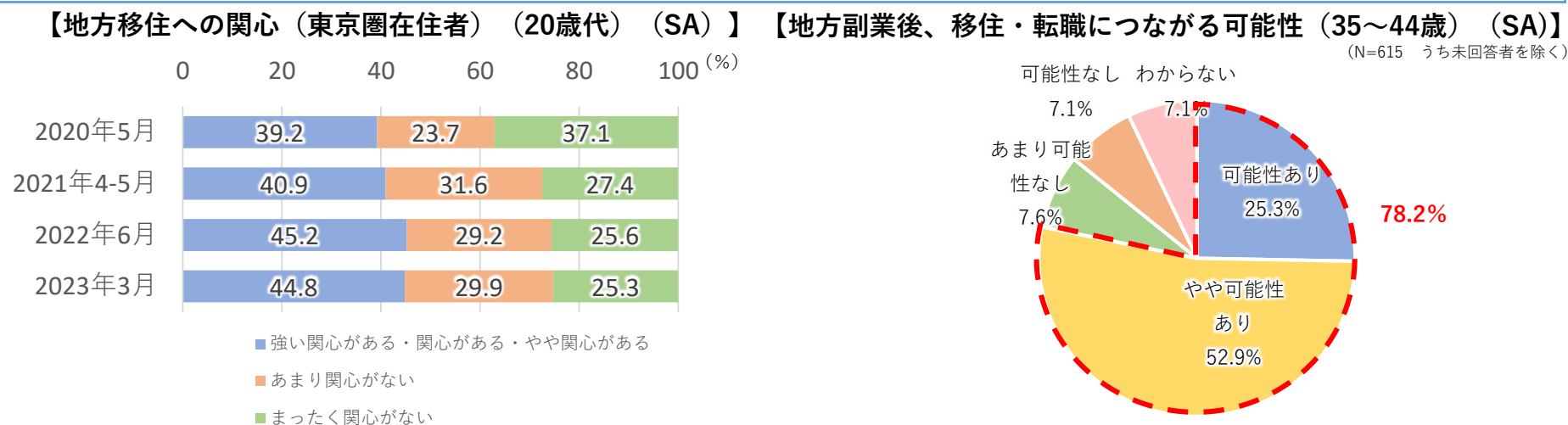
①人口関連データ

- 広島県への移住相談件数は増加傾向にあり、2021年（令和3年）には2015年（平成27年）の2倍以上に増えるなど、移住への関心が高まっています。



②意識関連データ

- 若い世代の移住への関心が高まっており、地方での関わりを通じて地方移住や転職につながる可能性も高くなっています。
- 自分のキャリアを生かした仕事や地域に密着した仕事を希望していますが、移住先で仕事を見つけることがハードルとなっています。
- 移住を検討している子育て世帯は、子育てや教育に関する支援や環境を特に重視しています。

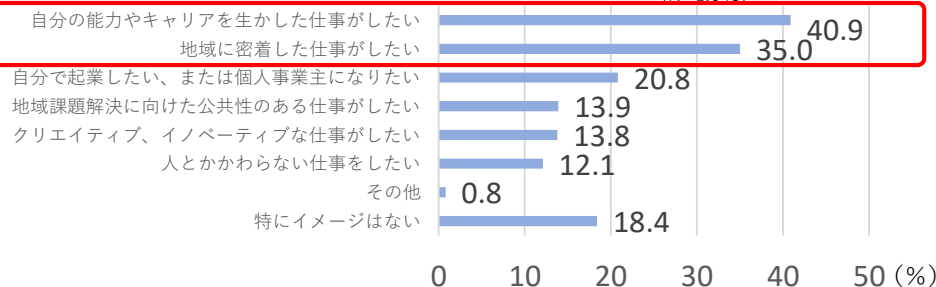


資料：内閣府「第5回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」（2023年3月）

資料：株式会社みらいワークス「首都圏大企業管理職に対する地方への「就業意識調査」」（2023年10月）

【地方圏でやりたい仕事のイメージ (MA)】

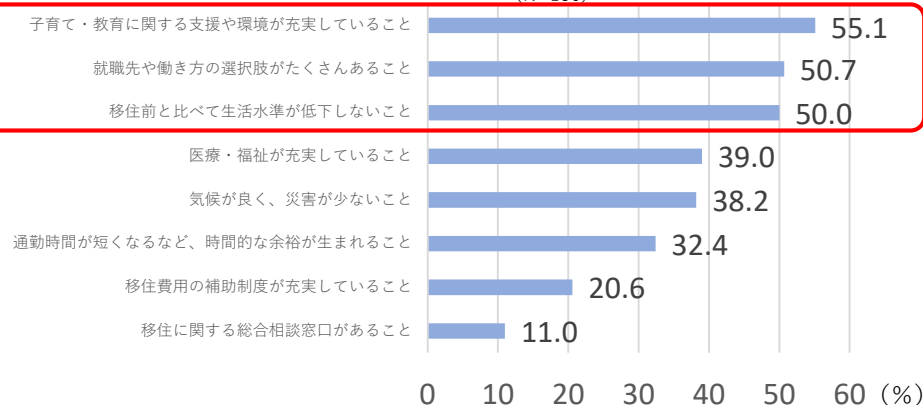
(N=1,648)



資料：内閣官房「東京圏以外の地域（地方圏）での暮らしの意識・行動を把握するためのWEBアンケート調査」（2020年1月）

【移住先で重視すること (MA)】

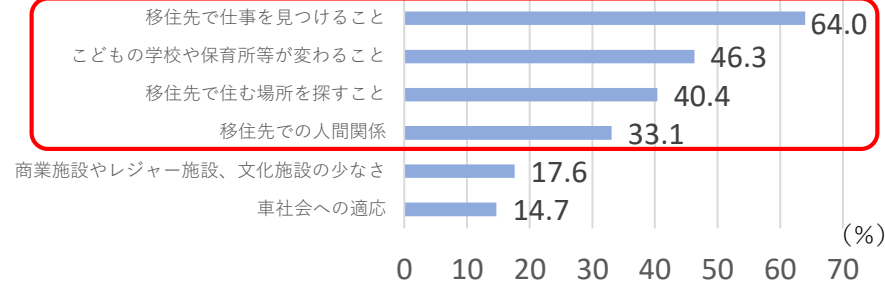
(N=136)



資料：福山市「福山移住に関するアンケート」（2021年3月）
30~40歳代、子ども（小学生未満）と同居している回答者を集計

【移住のハードル (MA)】

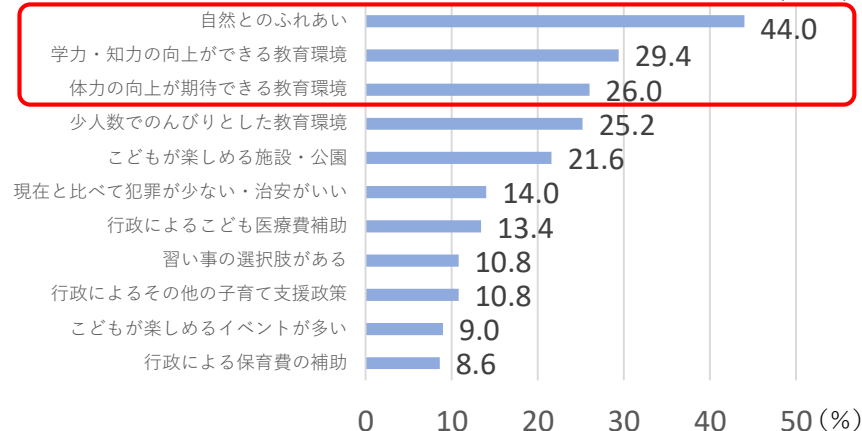
(N=136)



資料：福山市「福山移住に関するアンケート」（2021年3月）
30~40歳代、子ども（小学生未満）と同居している回答者を集計

【移住先の子育て環境で重視する条件 (上位10項目) (MA)】

(N=500)



資料：一般社団法人移住・交流推進機構「コロナ禍における若者の移住動向調査」（2022年3月）

ペルソナ⑧ 地方関心未婚男女

地方での「働く・暮らす」に関心がある
25~39歳 未婚の会社員



住む場所に制限されない働き方を実現したいが、なかなか一歩が踏み出せない。

地方への関心が高まっているが、地域の人や地元企業との関わりがなく、暮らしや働き方のイメージが湧かない。

ペルソナ⑨ 移住希望既婚男女

一家で移住を考えている25~39歳
既婚の会社員



自然豊かな環境で子育てをしたいが、待機児童や地方の教育環境が不安。

地元で家を持つことや親の介護など、将来設計を考えないと。

関西圏などの企業に就職したけど、自分のスキルを地元の企業で生かしたい。